



(題字 小黒千足 学長)

第375号
(平成 8 年 3 月号)



▲ 平成 7 年度学位記授与式，右上は教育学部代表に学位記授与
(平成 8 年 3 月25日(月)富山市公会堂)

目 次

学 長 告 辞	3	職 員 消 息	44
◆平成7年度富山大学学位記授与式を挙行		◆ 住 所 変 更	44
関 係 法 令	5	◆ 新任者住所	45
学 内 規 則	6	主 要 行 事	45
諸 会 議	29	資 料	47
学 事	31	◆ 平成7年度卒業者数	47
◆ 学 位 取 得 者	31	◆ 平成7年度修了者数	48
◆ 平成8年度文部省在外研究員派遣者の決定	31	◆ 平成7年度修了者一覧	49
◆ 平成8年度富山大学入学者学力検査 (後期日程)を実施	32	お 知 ら せ	60
人 事 異 動	34	◆学内電話をダイヤルイン化	60
学 内 諸 報	41		
◆ 保健管理センター所長に中村教授を選出	41		
◆ 退職者を囲む懇談会を開催	41		
◆ 永年勤続者の表彰	42		
◆ 海外渡航者	42		
◆ 外国人来訪者	44		

学 長 告 辞

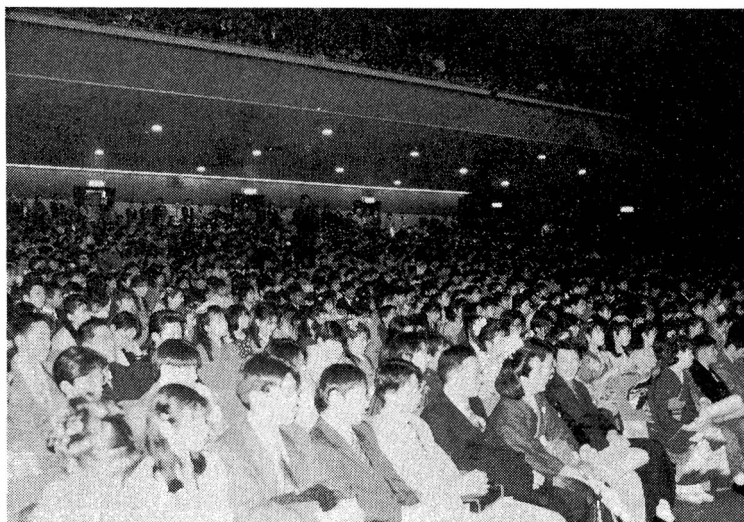
3月25日富山市公会堂において

平成7年度富山大学学位記授与式を盛大に挙行

= 1,653人が社会に巣立つ =

平成7年度富山大学学位記授与式が、平成8年3月25日（月）午前10時30分から富山市公会堂で挙行されました。式に先立ち本学フィルハーモニー管弦楽団によるオーケストラ演奏がありました。

授与式では、まず小黒学長から各学部及び大学院研究科の代表者（学部卒業生1,382人、大学院修了生271人、合計1,653人）にそれぞれ学位記が授与され、続いて学長から告辞があり、学位記授与式を終了しました。



学位記授与式学長告辞（全文）



学長 小 黒 千 足

ここにおられる1,653名の諸君は、本学所定の課程を終え、本日でたく学士または修士の学位を授与されました。教職員一同心からお祝い致します。また、この日を心待ちにしておられた、父母の皆様のお喜びも一入のことと存じます。

さて、顧みますと、諸君が本学に入学して以来、世界

および日本の社会情勢は、著しく変化致しました。諸君が入学の時にもっていた世界地図を、現在のものと比べれば、その違いは歴然としております。さらに、4年前の新聞の見出しを、今日のそれと比べたとき、いかに日本の社会が変わり、問題や視点が異なることに、驚かれるでしょう。

はるか旧聞に属しますが、思想と哲学が、そして、それに基づく経済機構が国家の形態を決め、その違いが世界を二分していた時代がありました。それが解消されたとき、世界に平和が訪れることが期待されましたが、それはむなしい望みでした。現在は、宗教の対立、民族の抗争、あるいは、いわれなき憎悪が、世界に混乱を招いております。また、昨年には、無差別な殺人があり、激しい天災がおこりました。また、政治の混乱は今日でも続いております。

以上述べたことは、現状の分析ではありません。

社会がいかに大きく変動しているかを示す事例として挙げました。わずか4年間、あるいは2年間で、これだけ変わる社会に直接対応することを、諸君はこれから迫られます。では、諸君は大学で何を学んだのでしょうか。また、大学を出た意義はどこに存在するのでしょうか。ここで、もう一度よく考えてみる必要があります。

本学は教育を通じて、単純な知識を授け、狭い視野の職業人を養成したとは思いません。諸君が大学で学んだことの中には、深い知識や高度の技術があるでしょう。勿論、それらは貴重であり、大学でしか得られないものかもしれません。しかしながら、さらに大切なことが存在いたします。

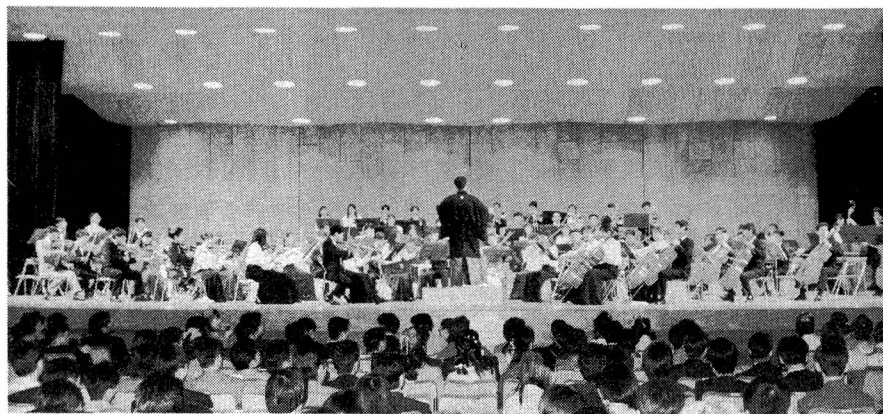
それは、真理を追究する態度、思考と行動の論理性、ならびに状況の変化に早急に、しかも、正しく対応できる姿勢であります。それらこそ大学生活を通じて学び取ってほしかったことであり、何物にも代え難い貴重な宝で

あると信じます。いま申したことを、あらためて、諸君一人一人が自ら問い直し、大学に学んだ意義の中心に据えて戴くことを希望いたします。

今一つ、触れておくべき事があります。現在、科学技術が発達し、また、物資の供給が潤沢になったことも一因で、ひとの欲望は、限りなく大きくなる傾向があることが指摘されております。それが、自然界の破壊につながり、また、人間性の喪失と人命を軽視する思想をもたらします。

少なくとも、ここに高等教育を受けた諸君は、この点に意を注ぎ、人命を軽視する風潮に強い怒りを覚え、人間性のあふれる社会の実現に努力をされることを希望いたします。

以上、大学で教育を受けた意義をあらためて述べ、その自覚と誇りを喚起して、諸君へのはなむけの言葉と致します。



▲ 式に先立ちオーケストラ演奏をする
本学フィルハーモニー管弦楽団



関 係 法 令**(法 律)**

- 国立学校設置法の一部を改正する法律(9)
(平 8 . 3 . 31 官報号外特第 5 号)
- 恩給法等の一部を改正する法律(11)
(同上)

(政 令)

- 国立学校設置法施行令の一部を改正する政令(48)
(平 8 . 3 . 27 官報号外第74号)
- 日本体育・学校健康センター法施行令の一部を改正する政令(63) (同上)
- 日本育英会法施行令の一部を改正する政令(64) (同上)
- 勤労者財産形成促進法施行令の一部を改正する政令(81)
(平 8 . 3 . 31 官報号外特第 5 号)

(省 令)

- 学校基本調査規則等の一部を改正する省令(文部 3)
(平 8 . 3 . 25 官報第1857号)
- 日本体育・学校健康センター法施行規則の一部を改正する省令(文部 4)
(平 8 . 3 . 27 官報第1859号)
- 国立大学の大学附置の研究所の研究部門に関する省令の一部を改正する省令(文部 5) (同上)
- 教育公務員特例法施行令第 1 条の規定に基づき大学院に置かれる研究科の長を定める省令の一部を改正する省令(文部 7)
(平成 8 . 3 . 28 官報号外第75号)
- 国家公務員等共済組合法施行規則の一部を改正する省令(大蔵16)
(平 8 . 3 . 29 官報号外第76号)
- 国立学校設置法施行規則の一部を改正する省令(文部 8)
(平 8 . 3 . 31 官報号外特第 5 号)

(規 則)

- 人事院規則17- 0 (管理職員等の範囲)の一部を改正する人事院規則(人事院17- 0 -41)
(平 8 . 3 . 25 官報第1857号)
- 人事院規則 9 - 8 (初任給, 昇格, 昇格等の基準)の一部を改正する人事院規則(人事院 9 - 8 -27)
(平 8 . 3 . 26 官報第1858号)
- 人事院規則16- 0 (職員の災害補償)の一部を改正する人事院規則(人事院16- 0 -18)
(平 8 . 3 . 29 官報号外第76号)
- 人事院規則16- 3 (災害を受けた職員の福祉事業)の一部を改正する人事院規則(人事院16- 3 -24)
(同上)
- 人事院規則16- 4 (補償及び福祉事業の実施)の一部を改正する人事院規則(人事院16- 4 -14)
(同上)
- 人事院規則18- 0 (職員の国際機関等への派遣)の一部を改正する人事院規則(人事院18- 0 - 3)
(同上)

(告 示)

- 平成 8 年度大学入学資格検定の施行期日等を定める件(文部38)
(平 8 . 3 . 27 官報第1859号)
- 国立の義務教育諸学校等の児童生徒等についての災害共済給付に係る平成 8 年度以降の共済掛金の額のうちその保護者等から徴収する額を定める等の件(文部39)
(平 8 . 3 . 28 官報第1860号)
- 教員の免許状授与の所要資格を得させるための課程として認定した件(文部62)
(平 8 . 3 . 29 官報号外第76号)

学 内 規 則

富山大学学生守則の一部を改正する守則

富山大学学生守則の改正理由

- 1 学生の遵守すべき必要な事項及び様式の整備を図るため、所要事項を改める。
- 2 字句の整備を行う。

富山大学学生守則（昭和24年11月18日制定）の一部を次のように改正する。

平成 8 年 3 月15日

富山大学長 小 黒 千 足

富山大学学生守則の一部を改正する守則

富山大学学生守則（昭和24年11月18日制定）の一部を次のように改正する。

第 7 条、第 8 条及び第 9 条を削る。

第 6 条の見出しを「（宿所）」に改め、同条中「宿所の」を「宿所を」に改め、同条を第 7 条とし、同条の次に次の 1 条を加える。

（健康診断）

第 8 条 学生は、本学が行う健康診断及び予防接種を受けなければならない。

2 学生は、健康診断の結果、必要に応じて大学が行う健康上の指示に従わなければならない。

第 5 条中「直ちに」を「，直ちに」に改め、同条を第 6 条とする。

第 4 条中「再交付」を「，再交付」に改め、同条を第 5 条とする。

第 3 条第 2 項中「，図書館等に入出または」を「，図書館等の出入又は」に改め、同条を第 4 条とする。

第 2 条第 1 項中「，学年の始め」を「，入学時に」に改め、同条第 2 項を削り、同条を第 3 条とする。

第 1 条の見出し中「および」を「及び」に改め、同条第 1 項中「，再入学者および転入学者」を「，再入学者，編入学者及び転入学者」に、「保証人連署の在学誓書

（様式(1)）」を「保証人と連署の在学誓書（様式 1）」に改め、同条第 2 項中「すみやかに」を「，速やかに」に改め、同条を第 2 条とし、第 1 条として次の 1 条を加える。

（趣 旨）

第 1 条 この守則は、富山大学学則第65条の規定に基づき、富山大学（以下「本学」という。）学生の遵守すべき必要な事項について定める。

第10条の見出し中「および」を「及び」に改め、同条中「，団体結成届（様式(2)）」を「，その責任者が団体結成届（様式 2）」に改め、同条を第 9 条とする。

第11条中「（団体の名称，目的，事業，組織，主たる事務所の所在地，役員，構成員，学外団体との関係等）」を削り，「，団体変更届（様式(3)）」を「，その責任者が団体変更届（様式 3）」に改め、同条を第10条とする。

第12条中「団体継続届（様式(2)を準用する。）」を「その責任者が団体継続届（様式 4）」に、「解散」を「，解散」に改め、同条を第11条とする。

第13条中「団体解散届（様式(4)）」を「，その責任者が団体解散届（様式 5）」に改め、同条を第12条とする。

第14条中「第10条から第13条」を「第 9 条から前条」に、「学長」を「，学長」に改め、同条を第13条とする。

第15条中「学生の集会は、その開催日の少なくとも前々

日までに集会責任者が集会届（様式(5)）」を「学生が集会を行う場合は、その責任者が開催日の少なくとも前々日までに集会届（様式6）」に、「その承認」を「承認」に、「学長」を「, 学長」に改め、同条を第14条とする。

第16条中「学生もしくは学内団体が、団体事務所または集会のため」を「学生が」に改め、「ときは、」を「場合は、その責任者が施設等使用願（様式7）により」に、「, その許可」を「, 許可」に改め、同条を第15条とする。

第17条中「, あらかじめその責任者が学部長」を「, その責任者があらかじめ掲示届（様式8）により当該施設等の管理者」に、「, その承認」を「, 承認」に改め、同条を第16条とする。

第18条中「または」を「又は」に、「とき」を「場合」に、「, あらかじめその責任者」を「, その責任者があらかじめ」に、「, その承認」を「, 承認」に、「学長」を「, 学長」に、「2通」を「2部」に改め、同条を第17条とし、同条の次に次の1条を加える。

（合宿、登山等）

第18条 学生が学外施設等において合宿をする場合は、その責任者が合宿の7日前までに、合宿届（様式9）を学部長を経て、学生部長に提出しなければならない。ただし、参加者が2学部以上にわたる場合は、学生部長に提出するものとする。

第19条中「および」を「及び」に、「, または」を「, 又は」に改め、同条を第20条とし、第18条の次に次の1条を加える。

第19条 学生が登山・野外旅行をする場合は、その責任者が出発する14日前までに、登山・野外旅行届（様式10）を学部長を経て、学生部長に提出しなければならない。ただし、参加者が2学部以上にわたる場合は、学生部長に提出するものとする。

様式(1)を次のように改め、様式1とする。（別添のとおり）

様式(2)を次のように改め、様式2とする。（別添のとおり）

様式(3)を次のように改め、様式3とする。（別添のとおり）

様式3の次に次の1様式を加える。（別添のとおり）

様式(4)を次のように改め、様式5とする。（別添のとおり）

様式(5)を次のように改め、様式6とする。（別添のとおり）

様式6の次に次の4様式を加える。（別添のとおり）

附 則

この守則は、平成8年4月1日から実施する。

様式1

在 学 誓 書

富山大学長 殿

私は、貴学に入学のうえは、学則及び諸規則を守り、
これに基づく義務を履行することを、保証人と連署し
て誓約します。

平成 年 月 日

学科
課程
学部
本人（自署）氏^{フリガナ}名 ⑩
年 月 日生

保証人（自署）現住所

氏^{フリガナ}名 ⑩
年 月 日生
本人との続柄

(注)1. 保証人は父母又はこれに準ずる者で、本人の身上について、その責を負うことのできる者であること。

2. 保証人が本人と同姓の場合でも、同一の印鑑は使用しないこと。

3. 保証人を変更する場合は、速やかに届け出ること。

※学籍番号 —

※印欄は記入しないこと。

様式2

平成 年 月 日

団 体 結 成 届

富 山 大 学 長 殿

責任者

学 籍 番 号 —

学部・学科（課程）

氏 名 (印)

住 所

(☎ —)

下記のとおり団体を結成したいので、提出いたします。

記

学 生 団 体 名	
目 的	
活 動 内 容	
主たる活動の場所	
連 絡 場 所	(☎ —)
学外団体との関係等	

様式3

平成 年 月 日

団 体 変 更 届

富 山 大 学 長 殿

責任者

学 籍 番 号 —

学部・学科（課程） 学部 学科（課程）

氏 名 ㊟

下記のとおり変更しましたので、提出いたします。

記

学生団体名	新	
	旧	
目 的	新	
	旧	
活 動 内 容	新	
	旧	
主たる活動 場 所	新	
	旧	

連 絡 場 所	新										
	旧										
学 内 団 体 との関係等	新										
	旧										
変 更 理 由											
新					旧						
役 員 名	役職名	学籍番号	氏 名	学 部	学科課程	役職名	学籍番号	氏 名	学 部	学科課程	
顧問教官又は 指導教官氏名	新	㊦									
	旧										

(㊦ 「顧問教官又は指導教官氏名」欄について、①顧問教官又は指導教官をおかない場合は、記入しなくてもよい。②指導教官とは、助言教官・指導教官制度に基づく指導教官ではありません。)

(備考) ・規約等を添付すること。

様式 4

平成 年 月 日

団 体 継 続 届

富 山 大 学 長 殿

責任者

学 籍 番 号	—		
学部・学科（課程）	学部	学科（課程）	
氏 名	⑩		
住 所			
	(☎)	—)

下記のとおり団体を継続したいので、提出いたします。

記

学 生 団 体 名	
目 的	
活 動 内 容	
主たる活動 場 所	
連 絡 場 所	(☎ —)
学外団体と の 関 係 等	

[illegible]

(注) 「顧問教官又は指導教官氏名」欄について、①顧問教官又は指導教官をおかない場合は、記入しなくてもよい。②指導教官とは、助言教官・指導教官制度に基づく指導教官ではありません。)

(備考) ・規約等を添付すること。

様式5

平成 年 月 日

団 体 解 散 届

富 山 大 学 長 殿

責任者

学 籍 番 号	—		
学部・学科（課程）	学部	学科（課程）	
氏 名	⑩		

下記のとおり団体を解散しますので、提出いたします。

記

学 生 団 体 名	
解 散 理 由	
解 散 年 月 日	平成 年 月 日
顧問教官又は 指導教官氏名	⑩

（⑩「顧問教官又は指導教官氏名」欄について、①顧問教官又は指導教官をおかない場合は、記入しなくてもよい。②指導教官とは、助言教官・指導教官制度に基づく指導教官ではありません。）

様式 6

平成 年 月 日

集 会 届

殿

責任者

学 籍 番 号 —

学部・学科（課程） 学部 学科（課程）

氏 名 ⑩

下記のとおり集会を行いたいので、承認願います。

記

学 生 団 体 名	
目 的	
日 時	平成 年 月 日 () 時 分から 平成 年 月 日 () 時 分まで
場 所	
参 加 者 数	名 (学生 名、教職員 名、その他 名)
備 考	

様式7

平成 年 月 日

施 設 等 使 用 願

殿

責任者

学 籍 番 号 —

学部・学科（課程） 学部 学科（課程）

氏 名 ⑩

住 所

(☎ —)

下記のとおり使用したいので、許可願います。

記

学 生 団 体 名	
目 的	
日 時	平成 年 月 日 () 時 分から 平成 年 月 日 () 時 分まで
場 所	
使 用 者 数	名 (学生 名、教職員 名、その他 名)
注 意 事 項	1. 火気の手扱いに十分注意すること。 2. 所定の場所以外での喫煙を禁ずること。 3. 教室内の整理整頓に留意すること。 4. 備え付けの物品を、無断で移動しないこと。 5. 使用後は、必ず清掃し、消灯戸締まりをすること。

様式8

平成 年 月 日

掲 示 届

殿

責任者

学 籍 番 号 —

学部・学科（課程） 学部 学科（課程）

氏 名 ⑩

下記のとおり掲示（立て看板）したいので、承認願います。

記

学 生 団 体 名	
目 的	
場 所	
枚 数	
掲 示 物 の サ イ ズ	
掲 示 期 間	平成 年 月 日（ ） 時 分から 平成 年 月 日（ ） 時 分まで
備 考	

様式9

平成 年 月 日

合 宿 届

富山大学学生部長 殿

責任者

学 籍 番 号	—
学部・学科（課程）	学部 学科（課程）
氏 名	⑩

下記のとおり合宿をしますので、提出いたします。

記

学生団体名	
目 的	
期 間	平成 年 月 日()～平成 年 月 日()
合 宿 場 所	
参 加 者 数	名(学生 名、教職員 名、その他 名)
連絡先住所 及び 電 話	(☎ —)
顧問教官又は 指導教官氏名	⑩
備 考	

[illegible]

様式10

平成 年 月 日

登 山 ・ 野 外 旅 行 届

富 山 大 学 学 生 部 長 殿

責任者 (部)

学 籍 番 号 —

学部・学科 (課程) 学部 学科 (課程)

氏 名 ⑩

1. 目 的

2. 編成及び連絡先 (◎印はリーダー, ○印はサブリーダーを示す。)

(12名以上に及ぶパーティは下記様式の別紙を付してください。)

	学部・学科	入学 年次	氏 名	連 絡 先 (家庭の住所)	TEL 局・番
◎	・				-
○	・				-
	・				-
	・				-
	・				-
	・				-
	・				-
	・				-
	・				-
	・				-
	・				-
	・				-

(1) 現地における連絡先及び電話番号

(連絡先)

☎ () —

(2) 残留者の連絡先及び電話番号

(連絡先)

☎ () —

3. 日程及び行動予定 (詳細別紙) (出発) 月 日 時 (帰着) 月 日 時

(1)	月 日	
(2)	・	
(3)	・	
(4)	・	
(5)	・	
(6)	・	
(7)	・	

4. 指導事項

平成 年 月 日 顧問教官又は指導教官氏名	印
-----------------------------------	---

5. 学部長の認印

学部長

印

6. 留意事項

- (1) 行動・日程については、指導教官及びO・B等の指導並びに助言を受けてください。
- (2) 特に山岳地帯を行動するときは、山岳部又はワンダーフォーゲル部との連絡を緊密にし、十分に指導を受けてください。
- (3) 条例等で登山等の届け出が義務づけられている場所では、これを必ず履行してください。
- (4) リーダーは、パーティの編成に際して、参加者の経験の有無・体力・健康状態・精神力等に留意し、必要に応じ医師の健康診断を受け、その指示に従い、事故の事前防止を図ってください。
- (5) 気象等の自然現象の変化に注意し、速やかに適切な処置を講じ、特にパーティの体力・健康に留意し、万全の行動に切りかえ、慎重を期してください。
- (6) 器具の使用にあたっては、事前に点検を必ず行ってください。
- (7) キャンプ等で自炊する場合は、食中毒を起こさないよう十分注意してください。
- (8) 出発、途中のコース変更及び帰着は、必ず学生部及び所属学部連絡してください。

特に行動中の事故発生に際しては、緊急連絡をし、その指示に従ってください。
(緊急連絡箇所……最寄りの警察署又は出先機関・学生部・所属学部等)

注① 1学部の学生で編成するときは、当該学部の学務係（人文学部は学務第一係、経済学部は学生係、理学部は学務第二係）に2部提出してください。

注② 2学部以上の学生で編成するときは、学生課学生係に1部提出してください。

注③ この書類は、行動の14日前までに提出してください。

富山大学教育学部規則の一部を改正する規則

富山大学教育学部規則の改正理由

授業科目の開設単位数を増設し、教育内容の充実を図るため、所要事項を改める。

富山大学教育学部規則の一部を改正する規則を次のように制定する

平成 8 年 3 月 15 日

富山大学長 小 黒 千 足

富山大学教育学部規則の一部を改正する規則

富山大学教育学部規則（昭和 27 年 4 月 18 日制定）の一部を次のように改正する。

別表Ⅱ（イ）教職に関する科目の表中

教 育 実 習 (事前及び事後の指導 1 単位を含む)	教育実習	5	5		4		5		4		5		を
	教育実習(小)	7	5										に改める。
	教育実習(中)	6			4								
	教育実習(小)	5					5						
	教育実習(中)	4							4				
	教育実習(幼)	7									5		」

別表Ⅲ（ロ）専攻教科国語専攻の表中

国 語 史	4				2	2	2			を
国語学各論	6				2	2	4			
国語学演習	6			2		4				
国 語 史	4				2	2	2			に、
国語学各論	8				2	2	6			
国語学演習	12			2		10				
国語学特別講義	2					2				を
国語学特別講義	4					4				に改め、

音楽専攻の表中

音楽特別講義	4					4				を
音楽特別講義	10					10				に改める。

附 則

この規則は、平成 8 年 4 月 1 日から施行する。

富山大学大学院経済学研究科規則の一部を改正する規則

富山大学大学院経済学研究科規則の改正理由

授業科目を増設及び変更し、教育・授業内容の充実を図るため、所要事項を改める。

富山大学大学院経済学研究科規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

平成 8 年 3 月 15 日

富山大学長 小 黒 千 足

富山大学大学院経済学研究科規則の一部を改正する規則

附 則

富山大学大学院経済学研究科規則（平成 3 年 3 月 20 日制定）の一部を次のように改正する。

- 1 この規則は、平成 8 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 7 年度以前の入学者については、なお従前の例による。

別表を次のように改める。（別添のとおり）

別 表

各 専 攻 授 業 科 目 及 び 単 位 数

専 攻	授 業 科 目	単位数	備 考
地 域 ・ 経 済 政 策 専 攻	理論経済学	2	○印の授業科目のうち1科目を必修とする。
	現代経済のモデル分析特殊研究	8	
	○現代経済のモデル分析演習	2	
	経済変動と安定化特殊研究	8	
	○経済変動と安定化演習	2	
	政治経済学特殊研究	8	
	○政治経済学演習	2	
	経済哲学特殊研究	8	
	○経済哲学演習	2	
	経済学史特殊研究	8	
	○経済学史演習	2	
	情報資本主義分析特殊研究	8	
	○情報資本主義分析演習	2	
	理論経済学特殊研究	8	
	○理論経済学演習	2	
	数理経済学特殊研究	8	
	○数理経済学演習	2	
	比較経済論	2	
	○西 欧 経 済 史 特 殊 研 究	8	
	○西 欧 経 済 史 演 習	2	
	日 本 経 済 史 特 殊 研 究	8	
	○日 本 経 済 史 演 習	2	
	環境勘定監査論特殊研究	8	
	○環境勘定監査論演習	2	

専 攻		授 業 科 目	単位数	備 考
地 域 ・ 経 済 政 策 専 攻	政策科学	農業構造と地域開発特殊研究	2	
		○農業構造と地域開発演習	8	
		比較社会学特殊研究	2	
		○比較社会学演習	8	
		経済発展と産業政策特殊研究	2	
		○経済発展と産業政策演習	8	
		東南アジアの経済開発特殊研究	2	
		○東南アジアの経済開発演習	8	
		経済政策と地域産業構造論特殊研究	2	
		○経済政策と地域産業構造論演習	8	
		資源計画特殊研究	2	
		○資源計画演習	8	
		社会政策特殊研究	2	
		○社会政策演習	8	
	応用経済学	計量経済学特殊研究	2	
		○計量経済学演習	8	
		労働のマクロ経済分析特殊研究	2	
		○労働のマクロ経済分析演習	8	
		労働のミクロ経済分析特殊研究	2	
		○労働のミクロ経済分析演習	8	
		農業政策特殊研究	2	
		○農業政策演習	8	
		金融論特殊研究	2	
		○金融論演習	8	
		財政学特殊研究	2	
		○財政学演習	8	
		金融制度と経済構造特殊研究	2	
		○金融制度と経済構造演習	8	
		経済計画理論特殊研究	2	
		○経済計画理論演習	8	
		外国経済書研究	2	
企 業 経 営 専 攻	経営学	財務管理論特殊研究	2	○印の授業科目のうち1科目を必修とする。
		○財務管理論演習	8	
		経営組織論特殊研究	2	
		○経営組織論演習	8	
		企業人材開発論特殊研究	2	
		○企業人材開発論演習	8	
		財務会計論特殊研究	2	
		○財務会計論演習	8	
		経営管理論特殊研究	2	
		○経営管理論演習	8	
		人事戦略特殊研究	2	

専 攻		授 業 科 目	単位数	備 考
企 業 経 営 専 攻	応用経営	○人 事 戦 略 演 習	8	
		比 較 経 営 論 特 殊 研 究	2	
		○比 較 経 営 論 演 習	8	
		会 計 情 報 開 示 論 特 殊 研 究	2	
		サ ー ビ ス 経 営 教 育 論 特 殊 研 究	2	
		○サ ー ビ ス 経 営 教 育 論 演 習	8	
		マ ー ケ テ ィ ン グ 論 特 殊 研 究	2	
		○マ ー ケ テ ィ ン グ 論 演 習	8	
		リ ス ク ・ マ ネ ジ メ ン ト 特 殊 研 究	2	
		○リ ス ク ・ マ ネ ジ メ ン ト 演 習	8	
		管 理 会 計 論 特 殊 研 究	2	
		○管 理 会 計 論 演 習	8	
		国 際 経 営 論 特 殊 研 究	2	
		○国 際 経 営 論 演 習	8	
		意 思 決 定 論 特 殊 研 究	2	
		○意 思 決 定 論 演 習	8	
	管理科学	オ ペ レ ー シ ョ ン ズ ・ リ サ ー チ 特 殊 研 究	2	
		○オ ペ レ ー シ ョ ン ズ ・ リ サ ー チ 演 習	8	
		情 報 シ ス テ ム 特 殊 研 究	2	
		○情 報 シ ス テ ム 演 習	8	
		数 理 計 画 法 特 殊 研 究	2	
		○数 理 計 画 法 演 習	8	
		生 産 管 理 論 特 殊 研 究	2	
		○生 産 管 理 論 演 習	8	
		経 営 情 報 処 理 特 殊 研 究	2	
		ヨ ー ロ ッ パ 法 思 想 史 特 殊 研 究	2	
		○ヨ ー ロ ッ パ 法 思 想 史 演 習	8	
		政 治 学 特 殊 研 究	2	
		○政 治 学 演 習	8	
		英 米 公 法 特 殊 研 究	2	
		○英 米 公 法 演 習	8	
	基礎法	行 政 法 特 殊 研 究	2	
		○行 政 法 演 習	8	
		政 治 史 特 殊 研 究	2	
		○政 治 史 演 習	8	
		憲 法 特 殊 研 究	2	
		○憲 法 演 習	8	
		経 済 刑 法 特 殊 研 究	2	
		○経 済 刑 法 演 習	8	
		比 較 刑 事 法 特 殊 研 究	2	
		○比 較 刑 事 法 演 習	8	
		税 法 特 殊 研 究	2	

専攻		授業科目	単位数	備考
企業経営専攻	民事法	○税法演習	8	
		民法特殊研究	2	
	企業関係法	○民法演習	8	
		不動産法特殊研究	2	
		○不動産法演習	8	
		金融取引法特殊研究	2	
		○金融取引法演習	8	
		企業会計法特殊研究	2	
		○企業会計法演習	8	
		企業内容開示制度と法特殊研究	2	
		○企業内容開示制度と法演習	8	
		○経済法特殊研究	2	
		○経済法演習	8	
		商取引法特殊研究	2	
		○商取引法演習	8	
		企業組織法特殊研究	2	
		○企業組織法演習	8	
労働法特殊研究	2			
○労働法演習	8			
		国際商事仲裁法特殊研究	2	
		○国際商事仲裁法演習	8	
		外国経営書研究	2	
備考				
この表に掲げる授業科目のほか、特別研究を設けることができる。				

富山大学大学院理学研究科規則の一部を改正する規則

富山大学大学院理学研究科規則の改正理由

理学研究科化学専攻の研究分野に水素同位体科学を加え、化学専攻の教育内容の充実を図るため、所要事項を改める。

富山大学大学院理学研究科規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

平成8年3月15日

富山大学長 小 黒 千 足

富山大学大学院理学研究科規則の一部を改正する規則

富山大学大学院理学研究科規則（昭和53年 4 月 1 日制定）

の一部を次のように改正する。

別表化学専攻の項を次のように改める。

化学専攻	物理化学 構造化学 分析化学 有機化学 天然物化学 水素同位体 科学	化学反応論	2	○印は必修科目
		触媒化学	2	
		表面化学	2	
		物質化学	2	
		構造化学	4	
		量子化学	2	
		固体化学	2	
		分析化学	4	
		無機反応論	4	
		有機反応論	2	
		有機機構論	4	
		有機合成化学	2	
		天然物化学	4	
		複素環化学	4	
		核化学	2	
		固体物理化学	2	
		機能性材料	2	
		同位体化学	2	
		○最先端化学特論	2	
		反応物性特別講義	1	
		合成有機特別講義	1	
		分析化学特別講義	1	
		水素エネルギー特別講義	1	
		○化学生物学特別実験	2	
		○ゼミナール	4	
		○化学特別研究	14	

附 則

この規則は、平成 8 年 4 月 1 日から施行する。

富山大学大学院委員会規則の一部を改正する規則

富山大学大学院委員会規則の改正理由

大学院委員会の組織を見直し、委員会運営の合理化を図るため、所要事項を改める。

富山大学大学院委員会規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

平成 8 年 3 月 15 日

富山大学長 小 黒 千 足

富山大学大学院委員会規則の一部を改正する規則

富山大学大学院委員会規則（昭和42年 5 月19日制定）の一部を次のように改正する。

第 2 条第 1 項第 3 号中「各 4 名」を「各 2 人」に改める。

附 則

- 1 この規則は、平成 8 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 改正前の規則第 2 条第 1 項第 3 号の委員の任期は、第 2 条第 2 項の規定にかかわらず、平成 8 年 3 月 31 日までとする。

諸

会

議

第 5 回教養教育委員会（3 月 1 日）

（審議事項）

- (1) 平成 7 年度教養教育経費の執行について
- (2) 平成 8 年度非常勤講師任用計画の一部変更及び資格審査について
- (3) 自己点検評価委員会からの付託事項の取扱いについて
- (4) その他

第 8 回事務協議会（3 月 1 日）

（議 題）

当面の諸課題について

第 2 回網紀点検調査委員会（3 月 1 日）

（議 題）

- (1) 点検実施項目の実施状況等について
- (2) その他

第 4 回放射性同位元素総合実験室運営委員会（3 月 7 日）

（議 題）

- (1) 放射性同位元素総合実験室長の推薦について
- (2) 放射線取扱主任者及び代理者の推薦について
- (3) 平成 9 年度歳出概算要求について
- (4) 平成 9 年度国立学校施設整備概算要求について
- (5) その他

第 1 回体育施設委員会（3 月 7 日）

（議 題）

- (1) 体育施設の管理体制一元化について
- (2) 会議の在り方について
- (3) その他

第 8 回附属図書館商議会（3 月 8 日）

（審議事項）

- (1) 富山大学附属図書館利用規則の一部改正（案）について
- (2) 富山大学附属図書館利用内規の一部改正（案）に

ついて

- (3) 富山大学附属図書館学外者利用内規の一部改正（案）について
- (4) 富山大学図書館資料の不用の決定及び廃棄の基準（案）について
- (5) 平成 8 年度附属図書館開館日程（案）について

第 3 回大学院委員会（3 月13日）

（審議事項）

- (1) 富山大学大学院学則の一部改正について
- (2) 富山大学大学院委員会規則の一部改正について
- (3) 富山大学大学院教育学研究科規則の一部改正について
- (4) 富山大学大学院経済学研究科規則の一部改正について
- (5) 富山大学大学院理学研究科規則の一部改正について
- (6) その他

第 2 回国際交流委員会（3 月14日）

（審議事項）

- (1) 大学間学術交流協定締結に当たっての基本的な考え方について
- (2) 自己点検評価委員会からの付託事項について
- (3) 平成 8 年度富山大学国際交流事業基金各種事業の募集要項（案）について
- (4) 富山大学留学生センター及び留学生課の設置について
- (5) その他

第11回部局長懇談会（3 月15日）

（議 題）

- (1) 当面の諸問題について
- (2) その他

第11回評議会（3 月15日）

（審議事項）

- (1) 富山大学学則の一部改正について
- (2) 富山大学大学院学則の一部改正について
- (3) 富山大学教育学部規則の一部改正について
- (4) 富山大学大学院教育学研究科規則の一部改正について
- (5) 富山大学大学院経済学研究科規則の一部改正について
- (6) 富山大学大学院理学研究科規則の一部改正について

- (7) 富山大学大学院委員会規則の一部改正について
- (8) 富山大学総合情報処理センター規則の制定について
- (9) 富山大学総合情報処理センターのセンター長及び教員選考規則の制定について
- (10) 富山大学生涯学習教育研究センター規則の制定について
- (11) 富山大学生涯学習教育研究センターのセンター長及び教員選考規則の制定について
- (12) 富山大学学長選考規則の一部改正について
- (13) 富山大学施設整備委員会規則の一部改正について
- (14) 富山大学自己点検評価規則の一部改正について
- (15) 富山大学教員（教授・助教授・講師）選考基準の一部改正について
- (16) その他

第 9 回事務協議会（3 月18日）

（議 題）

当面の諸課題について

第 2 回体育施設委員会（3 月21日）

（議 題）

- (1) 体育施設の管理体制一元化について
- (2) 会議の在り方について
- (3) その他

第 1 回放射性同位元素総合実験室委員会（3 月21日）

（議 題）

- (1) 委員長の選出について
- (2) 放射性同位元素総合実験室長の指名について
- (3) 放射性同位元素総合実験室放射線取扱主任者及び代理者の指名について
- (4) その他

第96回構内交通対策委員会（3 月22日）

（議 題）

- (1) 五福地区構内交通規制に関する実施要項及び同実施細目の一部改正について
- (2) 無許可車両等の一斉取締の実施について
- (3) 自己点検評価委員会からの付託事項について
- (4) その他

第 3 回低温液化室運営委員会（3 月27日）

（議 題）

- (1) 平成 9 年度歳出概算要求について

(2) 平成 9 年度国立学校施設整備概算要求について

(3) 自己点検評価委員会付託事項について

(4) その他

学

事

学 位 取 得 者



学位取得者 工学部 助手 中村 優子

学位の種類 博士（工学）（長岡技術科学大学）

取得年月日 平成 8 年 3 月 25 日

学位論文名 修飾電極を用いた電気化学的な光学異性体分離に関する研究

論文の要旨 電気化学的方法による光学異性体分離を目的とし、キラルな立体配置を持つ“機能性物質”を電極上に修飾し、分子の形を認識できる化学反応制御場の構築を試みた。その結果、浸漬法でキラルなロジウム錯体（BPPM）を修飾した電極で、アセトアミド桂皮酸の不斉水素化の可能性を立証するとともに、LB法によってキラルなアミノ酸を修飾した電極では、ラセミ体アミノ酸のメチオニンの電気化学的酸化により光学異性体過剰が認められ、本手法で光学異性体分離ができることを明らかにした。

平成 8 年度 文部省在外研究員派遣者の決定

種 類	所 属	職 名	氏 名	主たる滞在地及び当該滞在地の属する国名並びに派遣先の機関名	調査研究題目	派遣機関
長期（甲）	人文学部	教 授	岡 村 信 孝	フ ラ イ ブ ル ク (ド イ ツ) フライブルク大学	カント哲学における間主観性の問題	8.11.11 / 9. 9.10
	工 学 部	講 師	丹 保 豊 和	パ サ デ ナ (ア メ リ カ 合 衆 国) カリフォルニア工科大学	弾道電子放出顕微鏡(BEEM)法による金属半導体界面の研究	8. 5.22 / 9. 3.21
短 期	人文学部	教 授	鈴 木 敏 昭	バ ー ク リ ー (ア メ リ カ 合 衆 国) カリフォルニア大学	語意味の心理言語学的研究	8. 7. 1 / 8. 8.31
	経済学部	助教授	坂 口 正 志	ダ ー ラ ム (連 合 王 国) ダーラム大学	アルフレッド・マーシャルの経済学体系の展開に関する研究	8.10. 2 / 8.12. 1
	工 学 部	助 手	米 山 嘉 治	ユニバーシティパーク (ア メ リ カ 合 衆 国) ペンシルバニア州立大学	分散触媒を使用した触媒水素化反応に及ぼす水の促進効果の調査研究	8. 9.24 / 8.11.23
若手教官	教育学部	講 師	徳 橋 曜	フ ィ レ ン ツ エ (イ タ リ ア) フィレンツェ大学	ルネサンス期イタリア都市のソシアビリティの変化	8.10.10 / 9. 8.10

平成8年度

富山大学入学者選抜学力検査（後期日程）を実施

平成8年度入学者選抜試験（後期日程）が、去る3月11日（月）に実施されました。

人文学部、教育学部、経済学部、理学部及び工学部の各試験場において、学力検査、実技検査、小論文、面接などの試験が行われ、3月21日（木）に合格者が発表されました。

なお、後期日程の志願者数、合格者数等は、次のとおりです。



▲ 後期日程合格発表

平成8年度富山大学入学者選抜試験（後期日程）実施状況

学部	学科・課程		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	備 考
人文	人 文 学 科		15人	152人	56人	23人	
	国 際 文 化 学 科		10	94	38	17	
	言 語 文 化 学 科		20	86	29	28	
	計		45	332	123	68	
教育	小 学 校 教 員 養 成 課 程		30	164	48	42	
	中 学 校 教 員 養 成 課 程		12	359	185	17	
	養 護 学 校 教 員 養 成 課 程		6	98	39	11	
	幼 稚 園 教 員 養 成 課 程		9	121	57	12	
	課 情 報 教 育 程 程	教 育 情 報 コ ー ス	6	54	30	6	
		環 境 情 報 コ ー ス	4	38	19	5	
	計		67	834	378	93	
経済	昼 間 主 コ ー ス	経 済 学 科	31	289	105	44	
		経 営 学 科	24	245	92	35	
		経 営 法 学 科	20	216	82	33	
		小 計	75	750	279	112	
	夜 間 主 コ ー ス	経 済 学 科	4	44	18	8	
		経 営 学 科	5	54	24	9	
		経 営 法 学 科	5	49	23	11	
		小 計	14	147	65	28	
	計		89	897	344	140	
	理	数 学 科		7	27	12	8
物 理 学 科		9	40	15	9		
化 学 科		8	58	30	8		
生 物 学 科		6	46	23	6		
地 球 科 学 科		5	53	53	6		
生 物 圏 環 境 科 学 科		5	51	27	6		
計		40	275	160	43		
工	電 子 情 報 工 学 科		27	137	137	43	
	機 械 シ ス テ ム 工 学 科		21	97	97	35	
	物 質 工 学 科		16	81	81	30	
	化 学 生 物 工 学 科		16	82	31	20	
	計		80	397	346	128	
後 期 日 程 合 計			321	2,735	1,351	472	
前 期 日 程 合 計			975	3,615	3,397	1,086	
一 般 選 抜 合 計			1,296	6,350	4,748	1,558	

人 事 異 動

異動区分	発令年月日	氏 名	異 動 前 の 官 職	異 動 内 容 (略 記)
辞 職	8. 3. 31	佐藤 良一	教 授 経済学部	辞職
	〃	本郷 真紹	助教授 人文学部	〃
	〃	末原 達郎	〃 〃	〃
	〃	澤瀉いづみ	助 手 教育学部	〃
	〃	尾島 隆保	教育学部附属中学校 教頭 (副校長)	〃
	〃	城野 義明	〃 附属小学校 教諭	〃
	〃	田畑 章	〃 〃 〃	〃
	〃	老月 敏彦	〃 〃 〃	〃
	〃	澤井 隆	〃 附属中学校 〃	〃
	〃	松田 真治	〃 〃 〃	〃
	〃	京 和慶	〃 〃 〃	〃
	〃	松田 由美	〃 附属養護学校 〃	〃
	〃	盤若 一樹	〃 〃 〃	〃
	〃	中西真由美	〃 〃 〃	〃
	〃	松島 俱子	工学部学科事務主任	辞職 (勸奨)
退 職	8. 3. 31	奥村 行夫	〃 専門職員	定年退職
	〃	福山 浩	施設課電気係長	〃
	〃	開發 勝	経理部主計課管財係警務員長	〃
	〃	藤井 伸市	経済学部会計係作業員長	〃
	〃	高瀬サチ子	工学部会計係副作業員長	〃
採 用	8. 4. 1	竹内 潔		助教授 人文学部 (国際文化学科環境地域論)
	〃	坂本麻実子		〃 教育学部 (音楽教育)
	〃	深見友紀子		〃 〃 (〃)
	〃	木幡 伸二		〃 経済学部 (経済学科比較経済論)
	〃	清家 彰敏		〃 〃 (経営学科経営学)
	〃	長井 由里		講 師 人文学部 (人文学科歴史文化)
	〃	加藤 重広		〃 〃 (〃 行動文化)
	〃	山本富美子		〃 人文学部 (国際文化学科国際文化 関係 論)

異動区分	発令年月日	氏 名	異 動 前 の 官 職	異 動 内 容 (略 記)
採 用	8. 4. 1	濱田 美和		講 師 教育学部 (国語教育)
	〃	堀田 龍也		講 師 教育学部 (附属教育実践研究指導センター)
	〃	今井 克典		〃 経済学部 (経営法学科企業関係法)
	〃	古賀さゆり		助 手 経済学部 (経営学科管理科学)
	〃	小野 理恵		〃 〃 (経営学科管理科学)
	〃	唐原 一郎		〃 理学部 (生物学科生体構造学)
	〃	藤井 孝宜		助 手 工学部 (化学生物工学科生物反応化学)
	〃	山下 善路		教育学部附属中学校 教頭 (副校長)
	〃	高木ひとみ		〃 附属小学校 教諭
	〃	松浦 悟		〃 〃 〃
	〃	牧野 晃		〃 〃 〃
	〃	曲師 政隆		〃 〃 〃
	〃	沼崎 信行		〃 〃 〃
	〃	京角 輝彦		〃 附属中学校 〃
	〃	城石 和良		〃 〃 〃
	〃	作道 正也		〃 〃 〃
	〃	若山美津彦		〃 附属養護学校 〃
	〃	脊戸みちる		〃 〃 〃
	〃	大村知佐子		〃 〃 〃
昇 任	8. 4. 1	立川 健治	助教授 人文学部	教 授 人文学部 (国際文化学科環境地域論)
	〃	辰巳 昭典	〃 教育学部	教 授 教育学部 (音楽教育)
	〃	松本 清	〃 〃	〃 〃 (〃)
	〃	北村 潔和	〃 〃	〃 〃 (保健体育)
	〃	室橋 春光	〃 〃	〃 〃 (障害児教育)
	〃	山口 孝道	〃 経済学部	〃 経済学部 (経営法学科基礎法)
	〃	志津田一彦	〃 〃	〃 〃 (経営法学科企業関係法)
	〃	上羽 弘	〃 工学部	教 授 工学部 (電子情報工学科物性デバイス工学)
	〃	吉村 敏章	〃 〃	〃 〃 (化学生物工学科生物反応化学)
	〃	中村 和之	講 師 経済学部	助教授 経済学部 (経済学科応用経済学)
	〃	宇野 斉	〃 〃	〃 〃 (経営学科経営学)
	〃	岩内 秀徳	〃 〃	〃 〃 (〃 〃)

異動区分	発令年月日	氏 名	異 動 前 の 官 職	異 動 内 容 (略 記)
昇 任	8. 4. 1	岸本 壽生	講 師 経済学部	助教授 経済学部 (経営学科応用経営)
	〃	伊藤 司	〃 〃	〃 〃 (経営法学科民事法)
	〃	小畑 史子	〃 〃	助教授 経済学部 (経営法学科企業関係法)
	〃	丹保 豊和	〃 工学部	〃 工学部 (電子情報工学科物性 デバイス工学)
	〃	黒田 卓	長岡技術科学大学 助手 工学部	講 師 教育学部 (教育情報科学)
	〃	小野 慎	助 手 工学部	講 師 工学部 (化学生物工学科生物 反応化学)
転 任	〃	飯野 正幸	助教授 経済学部	東北大学 助教授 経済学部
配 置 換	〃	安藤 修平	文部省初等中等教育局主任教科書調査官	教 授 教育学部 (国語教育)
任用更新	〃	ムラジアン メアリー アン	助教授 人文学部	任用更新 (～ 9. 3. 31)
併 任	〃	松井 政明	教 授 教育学部	教育学部附属小学校長 (～10. 3. 31)
	〃	中村 義朗	〃 〃	〃 附属中学校長 (～10. 3. 31)
	〃	宮崎 州弘	〃 〃	〃 附属養護学校長 (～10. 3. 31)
	〃	長谷川総一郎	〃 〃	〃 附属幼稚園長 (～10. 3. 31)
	〃	中村 剛	教 授 保健管理センター	保健管理センター所長 (～10. 3. 31)
	〃	吉田 範夫	〃 理学部	理学部数学科長 (～ 9. 3. 31)
	〃	石川 義和	〃 〃	〃 物理学科長 (～ 9. 3. 31)
	〃	平井 美朗	〃 〃	〃 化学科長 (～ 9. 3. 31)
	〃	山田 恭司	〃 〃	〃 生物学科長 (～ 9. 3. 31)
	〃	小林 武彦	〃 〃	〃 地球科学科長 (～ 9. 3. 31)
	〃	小島 覺	〃 〃	理学部生物圏環境科学科長 (～ 9. 3. 31)
	〃	中山 剛	〃 工学部	工学部電子情報工学科長 (～ 9. 3. 31)
	〃	吉川 和男	〃 〃	〃 機械システム工学科長 (～ 9. 3. 31)
	〃	池野 進	〃 〃	工学部物質工学科長 (～ 9. 3. 31)
	〃	加藤 勉	〃 〃	〃 化学生物工学科長 (～ 9. 3. 31)
退 職	〃	浅井 亨	〃 人文学部	8. 3. 31限り停年退職
	〃	塚崎 幹夫	〃 教育学部	〃
	〃	長井 真隆	〃 〃	〃
	〃	中川 孝	〃 〃	〃
	〃	小西 照泰	〃 〃	〃
	〃	石原 努	〃 〃	〃
	〃	松本 賢一	〃 理学部	〃

異動区分	発令年月日	氏 名	異 動 前 の 官 職	異 動 内 容 (略 記)
退 職	8. 4. 1	作道 榮一	教 授 工学部	8. 3. 31限り停年退職
	〃	西部 慶一	〃 〃	〃
	〃	梅澤 里香	教育学部附属幼稚園 教諭 (臨時的任用)	8. 3. 31限り任期満了退職
育児休業	〃	吉田真寿美	〃 〃 〃	職務復帰
採 用	〃	名越真紀子		経済学部会計係
	〃	大久保篤志		工学部 (電子情報工学科)
昇 任	〃	斎藤 敏	大臣官房文教施設部指導課課長補佐	経理部長
	〃	秋山 武	静岡大学厚生課長	学生部次長
	〃	村岸萬喜男	施設課課長補佐	大阪教育大学施設課長
	〃	原 光頼	岐阜大学施設部建築課計画係長	施設課課長補佐
	〃	廣田 浩	庶務部企画室専門職員	厚生課専門員 (就職指導担当)
	〃	野村 正	富山工業高等専門学校会計課施設係施設主任	施設課電気係長
	〃	佐藤 淳	人文学部・理学部用度係用度主任	富山医科薬科大学教務部学生課厚生係長
	〃	高森 満	経理部主計課司計係予算主任	富山工業高等専門学校会計課出納係長
	〃	柴田 淳	庶務部人事課職員係職員主任	富山商船高等専門学校学生課教務係長
	〃	岩永 晴雄	教育学部会計係経理主任	国立立山少年自然の家庶務課会計係長
	〃	島田 勝弘	庶務部人事課給与係	庶務部人事課任用係任用主任
	〃	伏喜 俊至	人文学部・理学部経理係	経理部主計課司計係予算主任
	〃	中三川敏之	経理部主計課管財係	〃 〃 管財係管財主任
	〃	新井 浩	〃 経理課給与係	〃 経理課給与係給与主任
	〃	四ッ島正喜	施設課電気係	施設課電気係電気主任
	〃	笹岡 博史	入試課入学試験係	入試課入学試験係入学試験主任
	〃	小林 雄二	人文学部・理学部学務第二係	人文学部・理学部学務第二係教務主任
	〃	森田 昌夫	工学部用度係	工学部用度係施設主任
	〃	木下 晋	附属図書館情報管理課図書情報係	附属図書館情報管理課図書情報係 図書情報主任
	〃	三浦 伸幸	施設課機械係	富山医科薬科大学業務部施設課機械係 機第二 主任
	〃	寺林 忠男	厚生課厚生企画係	富山医科薬科大学教務部学生課教務第一係 教務主任
	〃	山田 勇一	学生課総務係	富山工業高等専門学校会計課用度係契約主任
	〃	林 秀一	人文学部・理学部学務第一係	〃 学生課教務係教務主任
	〃	西村 孝司	工学部用度係	金沢大学がん研究所会計係会計主任
転 任	〃	高邑 欣市	富山医科薬科大学教務部研究協力課専門職員	庶務部企画室専門職員

異動区分	発令年月日	氏 名	異 動 前 の 官 職	異 動 内 容 (略 記)
転 任	8. 4. 1	高尾 邦彦	富山医科薬科大学教務部学生課厚生係長	庶務部企画室企画係長
	〃	清水良太郎	富山工業高等専門学校会計課総務係長	学生課総務係長
	〃	近藤 達也	北陸先端科学技術大学院大学研究協力部 研究協力 課 統 企画係研究企画 任	庶務部庶務課学事調査係学事調査主任
	〃	田中 茂	富山工業高等専門学校学生課教務係教務主任	〃 企画室企画係管理主任
	〃	高瀬 範和	〃 会計課総務係総務主任	経理部経理課管理係管理主任
	〃	野尻 謙二	高岡短期大学会計課施設係施設主任	施設課機械係機械主任
	〃	山田 洋一	大臣官房調査統計企画課専門調査係主任	学生課総務係総務主任
	〃	田中 正博	国立立山少年自然の家庶務課庶務係庶務主任	人文学部・理学部経理係経理主任
	〃	水木 節子	石川工業高等専門学校庶務課庶務係庶務主任	〃 学務第二係学生主任
	〃	横井 宏正	富山医科薬科大学業務部医事課病歴管理係	庶務部人事課職員係
	〃	藤田 一吉	高岡短期大学会計課用度係	人文学部・理学部用度係
	〃	本多 了	〃 〃 司計係	〃 〃
	〃	石須 良恵	富山商船高等専門学校庶務課人事係	〃 学務第一係
	〃	津島 浩司	高岡短期大学学生課教務係	教育学部学務係
	〃	岩城 稔	国立立山少年自然の家庶務課会計係	工学部用度係
	〃	石坂 稔	人文学部・理学部学務第一係	富山医科薬科大学業務部医事課総務係
	〃	藤城 大志	入試課教務係	高岡短期大学会計課用度係
	〃	織田 世起	教育学部学務係	〃 学生課教務係
	〃	小森 功	施設課企画係	富山工業高等専門学校会計課総務係
	〃	新木 裕一	工学部用度係	国立立山少年自然の家事業課業務係
配 置 換	〃	横山 立身	経理部長	山形大学経理部長
	〃	飼牛俊一郎	学生部次長	神戸大学学生部次長
	〃	中野 好二	香川大学学生課長	庶務部庶務課長
	〃	相澤 吉彦	帯広畜産大学学生課長	学生課長
	〃	磯田 義賢	庶務部庶務課長	神戸商船大学庶務課長
	〃	大平 嘉彦	学生課長	京都教育大学庶務課長
	〃	林 征紀	教育学部事務長補佐	経理部経理課課長補佐
	〃	保正 邦久	経済学部事務長補佐	学生課課長補佐
	〃	刈賀 春樹	富山医科薬科大学総務部経理課課長補佐	教育学部事務長補佐
	〃	羽根 俊	工学部事務長補佐	経済学部事務長補佐
	〃	大場 克晃	学生課課長補佐	工学部事務長補佐

異動区分	発令年月日	氏 名	異 動 前 の 官 職	異 動 内 容 (略 記)
配 置 換	8. 4. 1	松下 義春	経理部経理課課長補佐	富山医科薬科大学総務部経理課課長補佐
	〃	矢後 和子	庶務部企画室企画調査係長	庶務部庶務課専門職員 (研究協力・法規担当)
	〃	涌井三枝子	庶務部庶務課専門職員 (研究協力・法規担当)	〃 企画室専門職員 (主任専門職員)
	〃	東 敏	経理部経理課出納係長	〃 企画室専門職員
	〃	能登 功	工学部専門職員 (研究協力担当)	学生課専門職員 (学生団体等指導相談担当) (専門員)
	〃	黒田 芳雄	学生課専門職員 (学生団体等指導相談担当)	厚生課専門職員 (主任専門職員)
	〃	濱野 松男	入試課教務係長	〃 専門職員
	〃	雁田 彰	工学部庶務係長	工学部専門職員 (研究協力担当)
	〃	宮越 謙三	厚生課専門職員	工学部専門職員 (外国人留学生担当) (専門員)
	〃	牧野 秀應	工学部経理係長	経理部主計課監査係長
	〃	武田知己郎	教育学部附属学校第一係長	〃 経理課出納係長
	〃	高邑 英市	庶務部企画室教養教育係長	〃 経理課給与係長
	〃	田中 祥男	経理部経理課管理係長 (文部技官)	経理部経理課管理係長 (文部事務官)
	〃	林 茂美	厚生課専門職員	入試課入学試験係長
	〃	堀 和實	入試課入学試験係長	入試課教務係長
	〃	江藤 憲和	経理部経理課給与係長	教育学部附属学校第一係長
	〃	杉本 周平	学生課総務係長	工学部庶務係長
	〃	吉沢 誠	経理部主計課監査係長	〃 経理係長
	〃	滋野 康雄	附属図書館情報サービス課参考調査係長	附属図書館情報サービス課情報サービス係長
	〃	濱屋 節子	附属図書館情報サービス課情報サービス係長	〃 〃 参考調査係長
	〃	田中 輝和	庶務部庶務課庶務係庶務主任	庶務部庶務課庶務係庶務第一主任
	〃	小路 隆	〃 〃 学事調査係学事調査主任	〃 〃 〃 庶務第二主任
	〃	能波 輝之	人文学部・理学部経理係出納主任	〃 〃 学事調査係研究協力主任
	〃	松田 晃	経済学部庶務係庶務主任	〃 人事課給与係給与第一主任
	〃	松田 玲子	庶務部人事課給与係給与主任	〃 〃 〃 給与第二主任
	〃	関川 国彦	人文学部・理学部庶務係人事主任	〃 〃 職員係職員主任
	〃	松井 博文	庶務部企画室企画調査係庶務主任	〃 企画室企画係庶務主任
	〃	黒田 景一	経理部経理課管理係管理主任	経理部主計課総務係総務主任
	〃	北角 政信	工学部用度係用度主任	〃 経理課用度係用度主任
	〃	藏川 一正	庶務部人事課任用係任用主任	人文学部・理学部庶務係人事主任
	〃	小林 司	人文学部・理学部学務第一係学務主任	〃 学務第一係教務主任

異動区分	発令年月日	氏 名	異 動 前 の 官 職	異 動 内 容 (略 記)
配 置 換	8. 4. 1	安部 保子	庶務部企画室教養教育係教務主任	人文学部・理学部学務第一係学生主任
	〃	寺脇 誠一	経理部経理課用度係用度主任	教育学部会計係経理主任
	〃	平野美智子	人文学部・理学部学務第二係学務主任	〃 学務係学務主任
	〃	坂東 康子	庶務部庶務課学事調査係研究協力主任	工学部庶務係研究調査主任
	〃	川邊 誠	経理部主計課総務係総務主任	〃 用度係用度主任
	〃	竹田 充輝	人文学部・理学部用度係	施設課企画係
	〃	倉田 実	教育学部学務係	入試課教務係
	〃	光地 浩和	〃 会計係	人文学部・理学部学務第一係
	〃	高木 晃	工学部庶務係	経済学部庶務係
	〃	石塚 久博	庶務部庶務課庶務係	工学部庶務係
	〃	澤崎 勝彦	〃 企画室教養教育係	〃 用度係
	〃	桶田 哲郎	工学部電子情報工学科	〃 経理係
	〃	荒井 誠一	経済学部会計係	附属図書館情報管理課総務係 (年史編纂 専任)
退 職	〃	名越真紀子	経理部主計課総務係 (臨時的任用)	8. 3. 31限り任期満了退職
併 任	〃	森田 昌夫	工学部用度係施設主任	施設課電気係 (～ 9. 3. 31)
育児休業	〃	室 智子	経理部主計課総務係	職務復帰
採 用	〃	澤瀉いづみ		教務補佐員 (人文学部・理学部)
	〃	山本 芳枝		〃 (教育学部)
	〃	西塚 麗子		〃 (〃)
	〃	吉村 典子		〃 (工学部)
	〃	中村 紀子		〃 (〃)
	〃	小島 美穂		〃 (〃)
退 職	〃	岡田 佳恵	事務補佐員 (教育学部)	8. 3. 31限り退職
	〃	柴田千賀子	〃 (工学部)	〃
	〃	三辺 直美	〃 (〃)	〃
	〃	土井 美香	〃 (〃)	〃
	〃	安田 京子	〃 (〃)	〃

学 内 諸 報

保健管理センター所長に中村教授を選出

笹倉壽介保健管理センター所長の任期が、平成8年3月31日で満了することに伴い、去る2月23日（金）開催の保健管理センター委員会において、次期所長候補者の選考が行われ、保健管理センター中村剛教授が選出されました。任期は、平成8年4月1日から2年間。

中村教授は、昭和41年3月金沢大学大学院医学研究科を修了後、公立病院勤務を経て、同42年10月富山大学教育学部助教授に採用され、同47年12月同教授、同51年4月保健管理センター教授となり、現在に至っています。

専門は、精神医学、医学博士（金沢大学）

石川県出身

（就任の抱負）

保健管理センターが設置されてから、約20年が経過しました。その間、入学試験制度の変更、教養部の廃止に伴う4年一貫教育、大学院生と留学生の増加、さらには、バブル崩壊後の不況、エイズに関する問題など、学生生活をとりまく環境はいやおうなしにかわってきました。学生の健康管理のありかたも、そうした事柄を踏まえて対処していかざるをえません。

小さな組織ですが、学生の健康増進のために、できるかぎりの努力をしていきたいと思います。

皆様のお力添えを、こころからお願い申し上げます。

退職者を囲む懇談会

— 教官9名 事務系6名 —

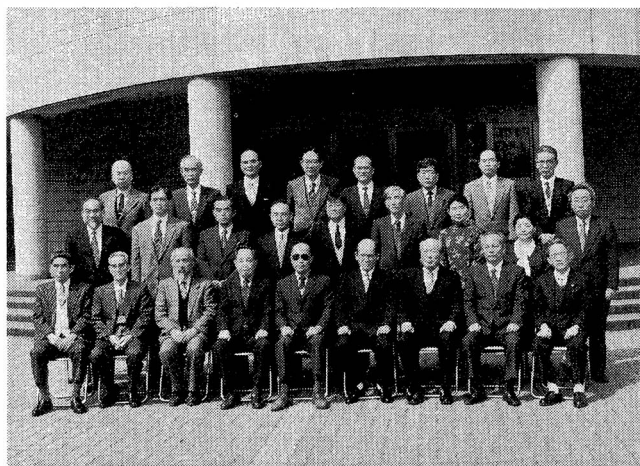
平成7年度に定年（停年）又は勲奨により退職された方々を囲む懇談会が去る3月14日（木）11時50分から黒田講堂会議室において開催されました。

懇談会では、小黑学長から退職者一人一人に記念品が贈呈された後、永年にわたって本学に尽くされたことへのねぎらいの挨拶がありました。これに対して退職者を代表して工学部松島事務官から謝辞が述べられました。

記念撮影に引き続き懇親会では、終始和やかな雰囲気の中、古き良き思い出に話がはずんでいました。

なお、退職された方々は次のとおりです。

事務局	文部技官	福山	浩
〃	文部事務官	開発	勝
人文学部	文部教官	浅井	亨
教育学部	文部教官	塚崎	幹夫
〃	〃	小西	照泰
〃	〃	石原	努
〃	〃	中川	孝
〃	〃	長井	真隆
経済学部	用務員	藤井	伸市
理学部	文部教官	松本	賢一
工学部	文部教官	作道	榮一
〃	〃	西部	慶一
工学部	文部事務官	奥村	行夫
〃	〃	松島	俱子
〃	用務員	高瀬	サチ子



学 長 の 挨拶

ここにお出での皆様には、本年度末をもちまして富山大学を去られます。皆様それぞれ所属の部局や、お立場は違いますが、長年にわたって、富山大学の発展に御尽力いただき、また、ひいては、日本の高等教育の進展に寄与されましたこと、厚くお礼申し上げます。

これはひとえに、皆様の熱意、御努力そして節制によるものと存じますが、同時に、それを支えてこられた、御家族に負う処が大きかったと拝察いたします。御家族にも、お礼を伝えて戴けましたら、幸いでございます。

さて、このようなおめでたい席で申し上げるのは適当

でないとも存じますが、本日ここにおられる筈であった方が、先日お亡くなりになりました。また、私の知人が先年体調を崩しました。その方は幸い本復いたしましたが、つくづく、定年など自然にくるものだと思っていたが、この病気をして、それが大変なことだと気付きました、と云っておりました。

その意味で、皆様が、この日をお迎えになられることを、心からお慶びするとともに、今後とも御健勝で過ごされることを祈念して、お祝いとさせて戴きます。

富 山 大 学 永 年 勤 続 者 の 表 彰

退職時の富山大学永年勤続者表彰式が、関係部局長列席のもと、去る3月27日（水）午前10時から学長室において行われました。

35年勤続の作道榮一教授（工学部）、20年勤続の老月俊彦教諭（教育学部附属小学校）に小黒学長から表彰状と記念品が贈られました。



海 外 渡 航 者

渡航の種類	所 属	職	氏 名	渡 航 先 国	目 的	期 間
外国出張	工 学 部	助教授	岡 田 裕 之	ア メ リ カ 合 衆 国	ポリマ分散型液晶の液晶構造変化に関する調査研究	8.3.1 ～ 8.8.31
	〃	教 授	宮 下 尚	台 湾	アジア太平洋化学工学連合大会に出席,研究発表	8.3.2 ～ 8.3.8
	〃	助教授	吉 田 正 道	台 湾	アジア太平洋化学工学連合大会に出席,研究発表	8.3.2 ～ 8.3.8
	〃	助教授	神 原 貴 樹	ア メ リ カ 合 衆 国	新規高分子生成反応の開発に関する調査研究	8.3.6 ～ 8.8.30

渡航の種類	所 属	職	氏 名	渡 航 先 国	目 的	期 間
外 国 出 張	教育学部	助教授	木 川 栄 一	ア メ リ カ 合 衆 国	スーパーブリューム起源岩石調査のための文献調査,共同研究打合せ及び日本側の調査研究結果講演	8.3.11 8.3.18
	経済学部	教 授	菊 田 健 作	ア メ リ カ 合 衆 国	重み付けられたグラフ上の探索ゲームとその応用に関する共同研究	8.3.17 8.3.28
	工 学 部	助教授	磯 部 正 治	ド イ ツ ス イ ス イ タ リ ア	ヒトゲノムミーティング'96国際会議に出席,研究発表,伝統医薬に関する研究打合せ及び発癌遺伝子に関する研究打合せ	8.3.20 8.4.2
	教育学部	助教授	堀 田 朋 基	フ ィ ン ラ ン ド	伸張～短縮サイクル運動における疲労のバイオメカニクスの研究	8.3.26 8.5.19
	人文学部	教 授	矢 澤 英 一	ロ シ ア	学部間交流協定の調印及び表敬訪問,研究打合せ	8.3.27 8.4.3
	人文学部 ・理学部	事務長	山 岸 長 幸	ロ シ ア	学部間交流協定の調印及び表敬訪問	8.3.27 8.4.3
	教育学部	助教授	木 川 栄 一	ロ シ ア	バイカル湖での研究についての打合せ及び共同研究	8.3.27 8.4.3
	理 学 部	助教授	酒 井 英 男	ロ シ ア	バイカル湖での研究についての打合せ及び共同研究	8.3.27 8.4.3
	教育学部	教 授	山 西 潤 一	連 合 王 国 カ ナ ダ ア メ リ カ 合 衆 国	CSCWと教育用マルチメディアインターフェイスに関する研究	8.3.28 8.10.28
海 外 研 修	理 学 部	教 授	黒 田 英 世	ア メ リ カ 合 衆 国	第10回ウニの発生生物学ミーティングに出席,研究打合せ	8.3.2 8.3.15
	〃	助 手	黒 田 律	ア メ リ カ 合 衆 国	〃	8.3.2 8.3.15
	人文学部	外国人 教 師	彭 国 躍	中 華 人 民 共 和 国	紡績,ファッション,インテリアなどに関する語彙調査と「日漢紡績辞典」の共同研究の打合せ	8.3.10 8.4.4
	工 学 部	教 授	坂 井 純 一	連 合 王 国 デ ン マ ー ク ド イ ツ	マンチェスター大学において講演,太陽大気での磁気再結合の観測に関する国際研究集会に出席・発表並びに共同研究,研究討論	8.3.11 8.4.1
	経済学部	助教授	角 森 正 雄	ア メ リ カ 合 衆 国	アメリカ合衆国民事訴訟制度,カリフォルニア州における小額裁判手続に関する調査・資料収集	8.3.20 8.4.10

渡航の種類	所 属	職	氏 名	渡 航 先 国	目 的	期 間
海 外 研 修	人文学部	助教授	村 井 文 夫	フ ラ ン ス	フランス18世紀言語思想に関する文献調査	8. 3. 20 ～ 8. 4. 11
	工 学 部	助教授	伊 藤 研 策	連 合 王 国	「荷電コロイド粒子－平板間の静電相互作用に関する理論的アプローチ」と題する講演, 英国化学会研究会議「複合流体のコロイド的性質」に参加し講演及び資料収集	8. 3. 21 ～ 8. 3. 30
	人文学部	教 授	磯 部 彰	中 華 人 民 共 和 国 大 韓 民 国	国際共同研究の打合せ, 明清時代の宝巻及び白話小説資料の調査研究, 新安発掘宋元陶器の紋様調査	8. 3. 23 ～ 8. 4. 3
	教育学部	教 授	山 下 三 郎	ド イ ツ	ドイツにおける生涯教育（体育）に関する資料収集	8. 3. 31 ～ 8. 4. 20

外国人来訪者

氏 名 (国 籍)	本国における 所属機関・職名	来 学 目 的	本学受入れ先	期 間
ロバート カール Robert F. Curl (ア メ リ カ)	ラ イ ス 大 学 教 授	レーザー分光に関する 研究討論のため	理学部 教授 高 木 光司郎	8. 3. 20 ～ 8. 3. 23

職員消息

〈住所変更〉

部 局 名	官 職	氏 名
人 文 学 部	助 教 授	大工原ちなみ
教 育 学 部	講 師	山 根 拓
教 育 学 部	教 諭	七 澤 邦 彦
教 育 学 部	文部事務官	池 田 真 紀 美
理 学 部	教 授	吉 田 範 夫

〈新任者住所〉

部 局 名	官 職	氏 名
教 育 学 部	文部事務官 臨時的任用	小 森 順 子

主 要 行 事

本 部

- 3月6日 第6回自己点検評価委員会研究活動等専門委員会
個別学力検査（前期日程）合格者発表
- 7日 体育施設委員会
- 8日 第6回国際交流委員会学術交流部会
第11回自己点検評価委員会教育活動等専門委員会
国際交流委員会留学生部会
- 11日 個別学力検査（後期日程）
- 12～13日 前期日程入学手続
- 12日 第9回教養教育委員会企画専門委員会
- 14日 退職者を囲む懇談会
平成7年度富山地区国立学校等人事担当課長会議
学生生活実態調査検討会
- 15日 中部地区人事担当課長会議（金沢国税局）
- 19日 平成7年度名古屋工事事務所管内国立学校等施設担当部課長会議（名古屋工事事務所）
- 21日 個別学力検査（後期日程）合格者発表
- 21～22日 総合科目（環境）教官研修会
- 25日 学位記授与式
- 26日 第10回教養教育委員会企画専門委員会
- 27日 富山大学永年勤続者表彰（退職者）
後期日程入学手続
- 28日 追加合格通知
「国立大学における全学共通教育の実施体制及びそのための組織のあり方に関する」研究・討論集会（東北大学）
- 29日 事務系退職者辞令交付
金庫検査
- 29～31日 追加合格入学手続

人 文 学 部

- 3月1日 学部将来計画委員会
- 5日 教授会
- 8日 学部将来計画委員会
- 11日 平成8年度入学者選抜学力検査（後期日程）
- 12日 講座代表者会議
学部学生生活委員会
- 13日 教授会
教授会（人事）
大学院人文科学研究科委員会
- 14日 学部将来計画委員会と予算委員会の合同委員会
予算委員会
- 15日 平成8年度前学期授業時間割担当会議
学部教務委員会
学部将来計画委員会
- 18日 講座代表者会議
- 19日 教授会
教授会（人事）
大学院人文科学研究科委員会
- 26日 学部将来計画委員会
- 27日 「人文学部のしおり」編集委員会

教 育 学 部

- 3月4日 教育学研究科委員会小委員会
- 5日 学部教務・学生生活合同委員会
学生生活委員会
教授会
人事教授会
- 8～9日 北陸地区臨時事務長協議会（福井大学）
- 12日 学部予算委員会
附属養護学校卒業式
- 13日 学部教務・学生生活合同委員会
教育学研究科委員会

教授会
 14日 附属幼稚園修了式
 15日 附属小学校卒業式
 18日 附属中学校卒業式
 附属幼稚園修業式
 19日 学部教務・学生生活合同委員会
 学部教務委員会
 教授会
 人事教授会
 21日 富山大学教務委員会教職科目専門委員会
 呉山会送別会
 附属中学校修業式
 附属小学校修業式
 22日 学部改組に関する教官打合せ会
 附属養護学校修業式
 27日 紀要編集委員会

経 済 学 部

3月4日 学部入学方法検討委員会
 5日 人事教授会
 教授会
 学部施設整備委員会（持ち回り）
 6日 広報委員会
 8日 大学院経済学研究科委員会小委員会
 11日 各種委員選考委員会
 12日 学部教務委員会
 日本海経済研究所運営委員会
 13日 大学院経済学研究科委員会
 教授会
 14日 学部将来構想検討委員会及び日本海経済研究所運営委員会の合同委員会
 18日 日本海経済研究所運営委員会
 学部将来構想検討委員会
 19日 学部入学方法検討委員会
 人事教授会
 教授会
 25日 学位記授与式及び祝賀会（富山観光ホテル）
 26日 広報委員会

理 学 部

3月1日 大学院理学研究科委員会教務検討小委員会
 5日 大学院理学研究科委員会
 教授会

5日 人事教授会
 11日 平成8年度入学者選抜学力検査（後期日程）
 12日 予算委員会
 13日 大学院理学研究科委員会
 教授会
 人事教授会
 19日 教授会
 人事教授会
 学部教務委員会

工 学 部

3月1日 機種選定委員会
 5日 教授会
 7日 教授会
 研究科委員会
 専任教授会
 14日 学部教務委員会
 18日 学部運営委員会
 学部自己点検評価委員会
 19日 教授会
 研究科委員会
 専任教授会
 博士後期課程委員会
 22日 仕様策定委員会
 25日 学位記授与式及び祝賀会
 26日 学部施設整備委員会

附 属 図 書 館

3月22日 第6回年史編纂項目・構成等検討小委員会

地域共同研究センター

3月13日 地域共同研究センター運営委員会
 15日 企業見学と産業交流会（㈱でんそく）

資

料

平成 7 年度 卒業 者 数

○ 学 部

入学年度		6	4	3	2	元	63	合 計
学部	学科 (課程)							
人文学部	人 文 学 科		82	13	4	2		101
	語 学 文 学 科		87	5	4			96
	計		169	18	8	2		197
教育学部	小学校教員養成課程		86	4	1			91
	中学校教員養成課程		39	4				43
	養護学校教員養成課程		18					18
	幼稚園教員養成課程		28	1				29
	情 報 教 育 課 程		30	1				31
	計		201	10	1			212
経済学部	昼 間 主 コ ー ス	経 済 学 科	121	17	5			143
		経 営 学 科	123	6	3	2		134
		経 営 法 学 科	85	6	1			92
		計	329	29	9	2		369
	夜 間 主 コ ー ス	経 済 学 科	14	1	1			16
		経 営 学 科	14					14
		経 営 法 学 科	15	2			1	18
		計	43	3	1		1	48
	計		372	32	10	2	1	417
理学部	数 学 学 科		36	11	1	1	1	50
	物 理 学 科		33	9	1	2		45
	化 学 学 科		33	3				36
	生 物 学 科		34	3	1			38
	地 球 科 学 科		14	6	3			23
	計		150	32	6	3	1	192
工学部	電 子 情 報 工 学 科	1	92	22	2	1		118
	機 械 シ ス テ ム 工 学 科	1	60	21	7			89
	物 質 工 学 科	1	66	8	4			79
	化 学 生 物 工 学 科	1	59	10	1			71
	電 気 工 学 科						1	1
	工 業 化 学 科					1		1
	金 属 工 学 科							
	機 械 工 学 科						2	2
	生 産 機 械 工 学 科					1		1
	化 学 工 学 科					1		1
	電 子 工 学 科						1	1
	計	4	277	61	14	4	4	364
		4	1,169	153	39	11	6	1,382

(注) 平成 6 年度入学は編入学

平成 7 年度 修了者数

○ 大 学 院

入学年度		6	5	4	合 計
研 究 科	専 攻				
人文科学研究科	日本・東洋文化専攻	11			11
	西 洋 文 化 専 攻	8	2	1	11
	計	19	2	1	22
教育学研究科	学 校 教 育 専 攻	7			7
	教 科 教 育 専 攻	15			15
	計	22			22
経済学研究科	地域・経済政策専攻	1			1
	企 業 経 営 専 攻	6	4	1	11
	計	7	4	1	12
理学研究科	数 学 専 攻	8			8
	物 理 学 専 攻	19			19
	化 学 専 攻	10			10
	生 物 学 専 攻	10			10
	地 球 科 学 専 攻	4			4
	計	51			51
工学研究科	電子情報工学専攻	56			56
	機械システム工学専攻	39			39
	物 質 工 学 専 攻	30			30
	化学生物工学専攻	39			39
	計	164			164
合 計		263	6	2	271

平成 7 年度大学院研究科修了者一覧

〔人文科学研究科（修士課程）〕

専 攻	氏 名	論 文 題 目
日本・東洋文化 (11名)	板 場 正 長	前漢中書考
	郭 明 輝	『続西遊記』の文学的研究 －『西遊記』との比較を中心に－
	佐 藤 真 江	女性活動ネットワークに関する地理学的研究 －高岡市における「女性センター」請求活動をめぐって－
	秦 嵐	車王府旧蔵説唱『西遊記』の研究
	新 本 真 之	日本近世窯業の技術と生産構造
	高 稲 環	図書寮本類聚名義抄の出典研究 －大唐西域記の採録法について－
	長谷川 幸 志	縄紋時代中期における異系統土器の在り方 －五丁歩遺跡・清水上遺跡の計量分析から－
	長谷部 高 志	貴霜翫侯の文化 －紀元前1世紀の中央アジア－
	水 野 学	元代南海貿易論
	宮 川 希世子	浄土系新宗教の展開 －御手南会の救世主信仰－
	森 葉 月	真宗ファンダメンタリズムの台頭
西 洋 文 化 (11名)	青 山 拓 也	A Study of <u>The Dynasts</u> by Thomas Hardy
	大久保 英	On the Odes of John Keats
	竹 腰 佳譽子	On the Ambiguity of the Endings of Bellow's Novels : Considered from the Point of Symbolism
	竹 田 和 代	泉鏡花と幻想文学
	大 門 敬 子	John Steinbeck's View of Women
	陶 琳	A Study on Linguistic Expressions for Politeness
	土 井 香乙里	The mechanism of turn-taking in an Agatha Christie
	西 尾 久美子	Matherhood in Steinbeck's "The Grapes of Wrath"
	幡 薫	デカプリストを囲んだ女性たち －その経歴と流刑地での生活－
	原 田 恵	17－20世紀初頭のロシア民衆文化研究 －民衆版画の特性と変化－
	清 家 仁	ヴィソーツキイの生涯

〔教育学研究科（修士課程）〕

専攻	専修	氏名	論文題目
学校教育専攻	学 校 教 育 専 攻	石 出 宗 人	中学校教育課程における選択制の一考察
		田 島 寛	これからの小学校教育における教育課程の在り方についての一考察
		土 井 真由美	小学校教育における環境教育の位置づけに関する一考察
		布 村 圭 子	英語の教授法と性格特性が学習成績に及ぼす影響 — 中学生の場合 —
		東 雅 宏	アルプス子ども会の研究 — 長期キャンプのプログラムと指導 —
		本 村 雅 宏	〈かかわり〉の教室 — 教師を支えるエロス力学 —
		山 下 委希子	場面緘黙症を伴う不登校児の指導事例に関する一考察
(7名)	(7名)		
教育学研究科	数学教育専攻	岩 本 広 志	教科書の国際比較 — 教科書に見る図形について —
		上 田 明 子	R S A暗号系と素因子分解
		長 越 弘 樹	コンピュータ支援環境における数学教育に関する考察 — 創造性を伸ばす教材と指導法 —
		平 澤 剛	QUOTIENTS OF BOUNDED OPERATORS AND SOME APPLICATIONS
		山 本 真 之	移流拡散方程式に対するPetrov-Galerkin有限要素法についての一考察
	理科教育専攻	小笠原 史 明	ThMn ₁₂ 型希土類遷移金属間化合物の磁性
		笹 嶋 嘉 明	理科離れ・理科嫌いの多面的考察
		松 本 謙 一	生活科の特質を生かした学習指導法に関する研究
	保健体育専修	山 崎 洋	体力と技術の相違からみたクロスカントリースキースキーの競技成績を決定する要因
	技術教育専修	向 後 智 子	マンガ・説明文の表現形態が学習内容の理解と記憶に及ぼす効果
		西 出 稚 鹿	マルチメディア教材の学習者制御が学習効果と動機づけに及ぼす影響
	家政教育専攻	井 藤 早 苗	青少年の塩味・甘味の味嗜好について
		岡 村 美乃里	小・中・高等学校における体系的な衣生活教育に関する研究
		澤 田 千恵子	高齢者扶養と家族の意識に関する研究
		渡 辺 朋 子	窮乏時における家庭科教育 — 第二次世界大戦とその前後を中心にして —
(15名)	(4名)		

〔 経済学研究科（修士課程） 〕

専 攻	氏 名	論 文 題 目
地域・経済政策 (1名)	浅 生 幸 子	女性の労働市場への参加と男女平等 - M字型パターンをめぐって -
企 業 経 営 (11名)	辻 修	閉鎖会社の株式評価
	澤 田 秀 憲	労働安全衛生管理体制に関する法規制の展開とその課題
	柴 田 良 人	外貨建取引会計処理基準に関する研究
	高 田 信 一	ネットワーク組織の構築と情報技術に関する一考察 - 地域医療における「知」の創造と “グループ・プラクティス” -
	許 瀛 民	事業部制における振替価格の研究
	飯 野 恵 子	現行相続制度と税法 - 遺留分減殺請求に対する価額弁償と代償分割の検討 -
	小 森 清 久	わが国のコーポレート・ガバナンスと監査制度の研究
	成 瀬 喜 則	ネットワークシステムにおけるコスト配分の最適化モデル
	蔡 進 雄	日本企業のグローバル化と現地経営
	張 晶	- 中国の国有企業におけるリスク・マネジメントの必要性、方法に関する研究 -
	陳 泉 発	日本企業の海外直接投資環境としてのアジア地域についての諸問題 - 特に中国とマレーシア に関連して -

〔 理学研究科（修士課程） 〕

専 攻	氏 名	論 文 題 目
数 学 専 攻 (8名)	今 井 則 夫	Geometry on tangent bundles
	音 謙 一	双安定 FitzHugh-Nagumo モデルにおける進行波解の存在と安定性
	北 村 宜 也	Some remarks on harmonic tensors and geodesic vector fields in Kähler manifolds
	庄 司 紀 彦	多変数周期関数と代数的加法定理
	田 中 敏	Oscillation of differential equations with deviating arguments
	中 村 一 彦	Some ratio inequalities for martingale sequences
	圓 山 淳 也	Generalized Heisenberg groups and harmonic spaces
	山 形 真	Oscillation of solutions of nonlinear parabolic equations with functional arguments
物 理 学 専 攻 (19名)	浅 野 丈 晴	比熱装置の立ち上げと希土類化合物の物性測定
	阿 部 聡 子	テトラポッド型 ZnO の結晶学的研究
	池 田 美 穂	星間分子の実験室分光-CH ₃ ¹⁸ OHのマイクロ波スペクトル

専 攻	氏 名	論 文 題 目
物 理 学 専 攻 (19名)	石 松 直 樹	Ⅲ－Ⅴ族化合物半導体結晶中の格子欠陥
	大 國 仁	CeNi ₂ Ge ₂ の磁氣的性質及びdHvA効果によるLaNi ₂ Ge ₂ のフェルミ面の研究
	岡 一 彦	ギ酸メチル分子のマイクロ波分光
	荻 原 俊 一	ダイオードレーザーの分光学への応用
	金 森 智 修	希釈冷凍機によるmK領域の抵抗測定
	上 林 詩 織	フェルミオンによる量子群の表現
	木 村 光 一	新しいSm化合物の近藤効果
	高 木 茂 王	波長可変炭酸ガスレーザーを用いた分光
	中 村 孝 夫	高階微分を含む正準理論
	永 瀬 一	遠赤外レーザー分光
	野 村 和佳子	メタノール分子 (¹³ CH ₃ OH) のマイクロ波分光
	原 田 敬 次	コヒーレントX線による回折と散乱
	三 輪 麻里子	高温域の熱電能測定
	村 上 智 志	フラクタル的関数について
	吉 田 健 司	準結晶およびその関連相の結晶学的研究
	段 云 波	分子スペクトルの理論的研究
化 学 専 攻 (10名)	大 井 敏 敬	廃水中のテトラフルオロホウ酸イオンの除去に関する研究
	岡 田 弘 彦	Eptazocine および Aphanorphine の酵素反応を利用した不斉合成
	小 林 徹	室温作動・自己展開型ガスクロマトグラフ法による水素同位体分離
	小 山 晴 樹	Head-to-head および Head-to-tail 架橋オリゴ (3-ヘキシルチオフェン) 誘導体の合成と性質
	御 器 智 子	イオン対の水/固相間分配に及ぼす溶媒の添加効果
	塚 本 陽 一	フロピリジン誘導体の合成と反応性
	林 誠	生体触媒を利用する多目的キラルビルディングブロックの不斉構築と天然物合成への応用
	平 岩 直 樹	メタノ架橋デヒドロヌレノンの合成と性質
	藤 井 芳 夫	振動の非調和性と物性
	室 谷 智	パルミチン酸カリウム塩の全自由度を含む分子動力学計算

専 攻	氏 名	論 文 題 目
生 物 学 専 攻 (10名)	江 口 睦 志	数種の爬虫類のカルシトニン遺伝子のクローニング：進化の観点からの考察
	岡 本 和 久	Analysis of phytochrome regulating spore germination in the fern <i>Ceratopteris richardii</i> using a mutant strain
	笠 井 誠	種子植物のクロロフィル生合成に関与する遺伝子の構造と機能
	木 谷 孝 行	ゾウリムシの繊毛運動調節とリン酸化
	神 保 絹 絵	クラミドモナスの光走性に関する突然変異株について
	杉 山 美奈子	大槌湾産モミジガイ属のヒトデの一種, <i>Astropecten</i> sp. の発生
	田 中 玄 太	クラミドモナスの mastigonemes の形態形成と機能について
	寺 川 亨	ウニ卵のリアノジンレセプターチャネルの研究
	橋 本 勝 明	バラ科キイチゴ属の小核の比較形態学的研究
	吉 田 梓	ウシガエルのカルシトニンの一次構造：脊椎動物におけるその系統学的位置の意義について
地 球 科学 専 攻 (4名)	大 橋 隆 行	障害物があるときの斜面積雪の挙動
	柴 田 元 衛	南関東における地殻変動同時異常と断層モデル
	東 田 和 弘	飛騨外縁帯，福地東方栃尾周辺の地質構造
	藤 本 泰 史	福井県丹生山地北部新第三系火山岩類

[工学研究科（博士前期課程）]

専 攻	氏 名	論 文 題 目
電 子 情 報 工 学 専 攻 (56名)	浅 野 純 太	ショートピッチ強誘電性液晶セルにおける層構造と電気光学特性
	有 沢 清	Si (001) 基板上的 In 薄層を介した InSb 薄膜の成長
	石 川 裕 之	液晶材料における物性定数及び配向秩序度の分子構造依存性
	石 田 博 孝	二相磁気誘導浮場形リニアモータに関する研究
	市 川 雅 一	ノイズ阻止変成器に関する研究
	岩 水 堅 治	結合 4 本線路形方向性結合器の解析
	浦 嶋 猛	室傍核ニューロン活動に対する酸性線維芽細胞成長因子の作用
	近 江 壮 一	有限要素法によるマスクパターンの熱変形解析
	小 栗 伸 幸	複数パターンの文字列照合におけるマッチングマシンの動的構成法
	小 田 裕 憲	懸垂碍子の超高耐圧化の研究

専 攻	氏 名	論 文 題 目
	尾 西 大 岳	直線状アンテナにパルスを印加した場合の電磁界に関する研究
	嘉 納 政 彦	遺伝的アルゴリズムによる形式言語の学習
	河 村 誠	電界による霧の挙動に関する研究
	菊 池 栄	超音波洗浄槽の数値シミュレーション
	木 嶋 忍	結合 4 本線路形変成器（巻線比 $N : N : 1 : 1$ ）の測定及び解析
	木 原 和 夫	音波浮揚の有限要素シミュレーション
	黒 崎 孝 一	霧の絶縁破壊に関する研究 － 一様非連続媒質での絶縁破壊の解明に向けて －
	小 泉 義 克	多重化サイリスタコンバータの高調波解析に関する研究
	五 味 正 揮	網膜神経細胞のスペクトル応答特性の自動計測に関する研究
	齊 藤 毅	モード法による音波伝播のシミュレーション
	佐 伯 健	結合線路形変成器のパルス応答解析
	坂 井 寛 治	結晶素子を用いた眼鏡無し立体画像表示方式
	里 成 典	J u m p i n g R i n g システムの特性解析に関する研究
	佐 藤 賢 一	自然言語による質問応答処理方式の研究
	塩 崎 輝 久	$C_{12}TCNQ \cdot LB$ 膜の電界印加成膜とその構造
	清 水 強	ポリイミド配向膜の構造異方性と液晶分子の配向に関する研究
	新 野 和 久	混合蒸着膜を用いた有機電界発光素子の構造と発光スペクトルに関する研究
	鈴 木 宏 人	スパッタ法による ZnO 薄膜の作製とガス雰囲気中における電気的性質
	園 田 浩一郎	統計的手法による文書画像の領域解釈に関する研究
	高 橋 野	CG 画像を用いた夜間都市景観のイメージ分析に関する研究
	武 田 茂 裕	MBE 法による $Bi_2Sr_2CaCu_2O_x$ 酸化物超伝導体薄膜の作製
	棚 橋 徳 彦	内側手網核ニューロン活動に対する酸性及び塩基性線維芽細胞成長因子の作用
	棚 辺 洋	大電流母線の配置による筐体内温度上昇影響に関する基礎研究
	寺 坂 公 孝	反強誘電液晶表示素子のコントラスト比向上に関する研究
	富 井 淳 敏	雷雲のシミュレーション実験 － 帯電した霧と水滴の電気的相互作用 －
	豊 田 哲 也	広帯域形分配回路の特性解析
	中 尾 貴 博	$Si(001)$ 基板上の MBE 成長 $Si_{1-x}Ge_x$ 薄膜の歪緩和と表面形態

専 攻	氏 名	論 文 題 目
	永 井 智 弘	単相交流磁気浮場に関する研究
	名 田 一	ACフィルタをもつダイオードコンバータの高調波解析に関する研究
	西 方 孝 幸	Si (001) 基板上のMBE成長 $\text{Si}_{1-x}\text{Ge}_x$ 薄膜の電気的特性
	西 脇 博	GaAs基板上の GaSe薄膜の初期成長過程
	長谷川 浩 二	プリント配線板上の刻印文字の認識に関する研究
	長谷川 陽 一	ケルビン・ヘルムホルツ不安定による電流ループ形成の研究
	畑 本 健 夫	有機電界発光素子の電荷注入特性に関する研究
	馬 場 康 典	非線形磁気特性推定のシミュレーション
	古 田 学	シーケンス制御用プログラムの統合化開発環境の試作
	水 巻 純 一	雷雲の電気的構造推定のシミュレーション
	元 平 茂	腕の振り上げ, 歩行及び眼球運動の開始相が呼吸リズムの位相遷移に与える影響
	山 崎 盛 勝	Si基板表面のSTM観察とInSb薄膜の成長
	山 田 宣 之	Si (001) 基板上の SrTiO_3 薄膜の作製
	横 川 耕 二	マルチエージェントシステムによる認知の発達モデル化
	吉 尾 雅 一	リンをドーブした硫酸グリシン単結晶の作製とその強誘電的特性
	吉 田 祥 和	連続HMMによる連続単語音声認識システムへの検討
	郭 潔 清	ユーザインタフェースを用いた環境型教育システムの構築
	葛 明	数式画像の構造解析に関する研究
	孫 志 方	C型鉄心を用いた単相交流磁気浮揚特性に関する研究
機 械 シ ス テ ム 工 学 専 攻 (39名)	市 村 悟	クラスターの熱膨脹に関する分子動力学的研究
	糸 氏 大 司	インライン配列フィン付管群の渦発生特性
	井 戸 敦 司	冷間鍛造用新アルミニウム合金の静的強度特性および疲労強度特性
	稲 森 平 太	制御気体軸受の軸特性解法に関する研究
	今 井 雅 則	円板弁の気体流量制御に関する研究
	上 田 耕 三	アルミニウム合金の旋削面性状に及ぼす各種ダイヤモンド工具および切削条件の影響に関する研究
	大 野 誠	ピエゾセラミックスのラッピング成形性に及ぼすラッピング条件の影響に関する研究
	上垣内 雅 人	$\text{Al}-\text{Fe}-\text{Ni}$ 系粉末成形材料のマイクロ組織制御と耐熱性向上に関する研究

専 攻	氏 名	論 文 題 目
	神 谷 敏 郎	ストリップフィン付き伝熱管周りの水の凝固・融解現象に関する研究
	神 谷 学	力支持加工台を有する自動オンオフ駆動制御型インパクトマシンの研究
	神 谷 康 宏	スライディングモード制御とニューラルネットワーク制御の関係に関する研究
	川 上 裕 幸	高速超塑性2024Al-SiC粒子複合材料の製造と高強度化に関する研究
	川 角 高 士	自動オンオフ駆動制御されるワンショットパンチのパワーによる動作評価
	黒 田 泰 嗣	β 型チタン合金の疲労強度特性に及ぼす応力比の影響と内部き裂発生挙動に関する研究
	定 免 貴 大	V形10気筒機関の起振モーメントに関する研究
	杉 村 昌 昭	熱プラズマの局所熱流動特性の計測法の開発
	高 作 一 宏	耐熱低合金鋼の高温多軸低サイクル疲労強度特性に及ぼす時効および長期間使用の影響
	高 橋 健 吾	改良 9 Cr-1Mo 鋼厚肉鍛造材の高温疲労強度特性に関する研究
	田 島 隆 史	ホブ盤の割出し機構に関する研究
	田 中 圭 一	小口径垂直円管内の気液二相流の時間平均ボイド特性 — 管径 5 mm および 3 mm の実験結果と相関式 —
	戸 田 裕 介	非定常熱線法による熱伝導率測定装置に関する検討
	中 田 昌 輝	感温磁性流体を用いた熱駆動システムの基本特性
	中 山 一 陽	超硬合金及びサーメットの繰り返し熱衝撃下のき裂進展挙動
	西 尾 淳 也	ハイボイドギヤの端部歯当りに関する研究
	長谷川 浩 一	圧電素子を用いたマイクロアクチュエータの同定と制御に関する研究
	原 裕 志	窒化珪素の微小疲労き裂進展特性に及ぼす大気中水分の影響
	平 村 英 志	管群型潜熱蓄熱槽の凝固特性に関する研究
	広 瀬 健 吾	摩擦熱を伴う繰り返し転がり接触による疲労表面き裂進展特性
	古 田 賢 司	微小衝撃加工機械のデジタル制御に関する研究
	保 要 庄 伸	放熱基板用複合金属の熱定数に関する実験的研究
	牧 野 泰 弘	ワイヤ放電加工のワイヤ変位計測に関する研究
	松 田 裕 二	ワイヤ放電加工の仕上げ加工のシミュレーション
	三 浦 雄 一 郎	まがりばかき歯車の歯当りに関する研究
	南 弘 樹	超塑性TZP及びTZP/Al ₂ O ₃ セラミックスの焼結鍛造特性に関する研究
	森 田 裕 之	6063合金押出し材の表面品質に及ぼすSi含有量の影響に関する研究

専 攻	氏 名	論 文 題 目
	盛 野 優 之	アルミニウム合金の腐食疲労過程における腐食ピットの成長特性に関する研究
	洪 峰	Ti-6 Al-4 V合金の高温強度特性に及ぼす組織及び切欠きの影響に関する研究
	シリチャイテーウイン エーク	セラミックスのクリープフィード研削加工性の評価および研削面の残留応力に関する研究
	張 昊	Study on improvement of working accuracy on shearing of aluminum section
物質工学専攻 (30名)	井 原 正 夫	Al-9 mass%Mg合金の応力腐食割れ特性に及ぼすGaの影響
	宇 野 章	インテリジェントマテリアルの基礎研究
	岡 田 高 行	スパッタ法によるSnO ₂ 薄膜に関する研究
	尾 島 健 一	Pr-W-O系複合酸化物に関する研究
	柏 木 実	発生ガス分析用感湿素子に関する研究
	蒲 田 裕 志	濃度の異なるAl-Mg-Si合金における時効析出過程
	河 合 雅 樹	60Sn-40Pbハンダの熱疲労に関する研究
	木 下 克 昌	傾斜半円柱乱流促進体の連続設置による伝熱促進
	久 米 治	銅-亜鉛合金における形態の異なる α 相の優先方位
	坂 本 之 作	ジシクロペンタ[a, d]シクロオクテンの合成
	佐 竹 行 弘	2成分溶液を含む砂層の乾燥機構
	角 直 樹	Ni-Mo合金の耐食性に関する研究
	大 代 泰 幸	複合微細造粒粒子の連続生成プロセスの開発 - 造粒と粉(解) 砕と分粒との同時操作 -
	高草木 俊 夫	Al-Al ₆ MnおよびAl-Al ₃ Mg ₂ 系合金電極のアノード溶解特性
	常 川 稔	酸性抽出剤で抽出されたSm(Ⅲ)およびNd(Ⅲ)の晶析逆抽出に関する研究 - しゅう酸塩および炭酸塩微粉体の生成 -
	手 嶋 邦 弘	有限要素法による半円柱乱流促進体周りの流動解析
	寺 下 尚 克	RBa ₂ Cu ₃ O _{7-y} (R=希土類元素) の低温比熱及びPr置換効果の研究
	樋 橋 弘 樹	水の密度反転領域におけるベナール対流
	西 村 嘉 修	筐体内自然冷却システムの高効率化に関する研究
	花 木 しおり	回転振動円板による異形微細粒子群の連続分離操作
	林 真 司	フェナジン系抗生物質の合成研究
	原 祐 一	溶湯噴射法による低体積率粒子分散型複合材料の粒子分散に及ぼす鑄造条件の影響
	福 田 淳 志	硫黄及びスホルン架橋アヌレン類の構造とそのジカチオン種の生成

専 攻	氏 名	論 文 題 目
	藤 井 要	シリコンを過剰に含むAl-Mg-Si合金の時効析出過程
	古 田 勝 也	Al-Cu-Mg合金を母相とする Al_2O_3 及びSiC粒子複合材料の時効析出
	松 岡 洋 子	湿式形状分離装置の試作と分離特性の検討
	松 本 祐加子	Pt(IV)およびPd(II)を担持したAlamine336およびTBPからの還元および晶析逆抽出
	山 岸 亮	SCS11二相ステンレス鋼の腐食特性に及ぼす $M_{23}C_6$ 炭化物の影響
	山 本 正 志	RAu_2Ge_2 系(R=希土類元素)の磁性
	曹 世 勛	$(Nd_{1-x}Pr_x)Ba_2(Cu_{1-z}Zn_z)_{3}O_{7-y}$ 系の磁場中における伝導現象の研究
化学生物工学 専攻 (39名)	足 立 克 彦	The Analysis of Hydroxyl Radical Induced Protein Damage
	石 井 宅 巳	酸素原子を含む可溶性ポリマーの合成とその機能性の評価
	磯 野 亮 一	シソ科植物の組織培養時における電界効果
	一ノ田 慎 司	平板上に固定した粒子と浮遊粒子間の静電相互作用に関する研究
	伊 藤 貴 夫	Bacillus brevis による縮環芳香族類の不斉酸化能に関する研究
	今 戸 正 洋	S, S, S-トリフェニルチアザインとその誘導体の反応 特に過酸化物によるフェニル基転位反応
	宇 多 真 一	ジニトロトルエン変異原性に関与する代謝活性化反応
	大 上 光 明	立山の温泉より単離された好熱菌のリパーゼ活性
	大 桑 真由美	ごまカルスによる抗酸化性リグナン物質の生産
	大 杉 哲 平	Synthesis and Reactivity of the Sulfenyl and Sulfinyl Compounds Stabilized by an Adjacent Functional Group
	大 野 工 司	Functions of Novel Sugar-Containing Amphiphiles Prepared with a Lipophilic Radical Initiator
	沖 昌 也	Studies on the temperate phage ϕ gle and the plasmid pNMO isolated from <u>Lactobacilli</u>
	柿 川 真紀子	Studies on Structural genes of the <u>Lactobacillus</u> phage ϕ gle
	金 山 隆 一	窒素原子を含むヘテロ環状モノマーの重合とその機能の評価
	川 口 裕 之	Studies on the Syntheses of 10-S-Monoxy and -Dioxy Thianthrene Derivatives and Their Chemistry on Several Stereochemical Reactions
	北 尾 太 一	温度刺激応答性高分子を用いた蛋白質分離プロセスの開発
	北 村 敏 宏	玄米層内における気体の拡散
	犀 川 浩 延	新しいサブトラクション法の確立と転移関連遺伝子の探索
	下 村 茂 樹	粘土層の電気浸透的脱水機構の解析
	杉 本 潤	塩基配列特異的抽出によるcDNAならびに単純繰り返し配列を含むDNA断片の単離

専 攻	氏 名	論 文 題 目
	鈴木 靖 輔	荷電棒近傍における同符号高分子微粒子の濃縮現象に関する研究
	高 井 佳 彦	含リン窒素化合物の防・難燃剤としての熱分解挙動
	竹 田 昌 央	Studies on the Synthesis and the Reaction of the Sulfoxides bearing Several Heteroaromatics
	田 渕 務	電気融合法と突然変異誘発法による酒醸造用酵母の品種改良の試み
	丹 波 澄 恵	<i>Saccharomyces diastaticus</i> の細胞外グルコミラーゼに関する研究 － 熱と変性剤による酵素の不活性化と構造変化との関係 －
	地 田 千 枝	担子菌スエヒロタケの炭酸ガス固定化能を利用した L-リンド酸の生産
	築 田 憲 明	Raman Spectroscopic Study on Water in Aqueous Polymer Solutions and Gels
	野 崎 知 行	Study on Cyclodextrin Derivatives Which Have a Responsiveness to External Stimuli
	幡 谷 友 行	破碎による酵母内有用物質の放出過程
	埴 聡一朗	非環式 S-アミノチアザインの合成とその反応性
	藤 井 宏	S, S, S-トリアリールチアザインの塩基性とその反応性の検討
	藤 田 哲 也	種を越えて保存される DNA 断片の単離法の確立
	二 口 誠	澱粉の老化に関する構造と DSC による解析
	松 浦 孝 至	コバルト〔Ⅱ〕錯体による酸素の吸脱着特性
	向 井 隆 司	パン酵母による不斉還元反応に対する多孔性セルロースビーズの効果に関する研究
	村 田 晶	ポリアクリルアミド加水分解ゲルの膨潤平衡およびタンパク質吸着特性
	森 越 保	メラミン誘導体の熱物性と質量スペクトル
	山 本 陽 一	両親媒性 β 構造ペプチドを固定化したクロマトグラフィーゲルの性質
	白 英	T 系ファージを規範としたオートマトンの人工生命

お知らせ

学 内 電 話 を ダ イ ヤ ル イ ン 化

去る 3 月 25 日（月）から、学内電話がダイヤルイン化されました。

これまで、時間外は外部から学内に電話連絡することができませんでしたが、これからは、45局の6000番台の番号をダイヤルすると、いつでも直接事務室・研究室等を呼び出すことができます。

教職員の皆様へ

学内電話がダイヤルイン化されたことに伴い、これまで交換室を経ていた外部との通話については、直接事務室・研究室等へつながることとなりますので、学外の関係者に各自のダイヤルイン番号を周知されますようお願いいたします。

また、いったん受けた電話を、他の学内電話に転送するなど、各種の機能も付加されておりますので、「学内電話の取り扱い方」を一読願います。

なお、ダイヤルイン番号の周知方等下記事項について、教職員各位の御協力をお願いします。

- * 今後作成される名刺には、代表の電話番号ではなく、研究室または所属系のダイヤルイン番号を掲載願います。
- * 本学から発送する封書や F A X 送信票に記載してある旧代表電話番号（41-1271番）の消し込みと、それに変わるダイヤルイン番号の記入をお願いします。

編 集	富山大学庶務部庶務課 富山市五福 3 1 9 0
印 刷 所	あけぼの企画株式会社 富山市住吉町 1 丁目 5-18 電 話 （ 2 4 ） 1 7 5 5 (代)